

(様式第 10)

海大第 1127号
平成 26 年 10 月 16 日

北海道厚生局長 殿

北海道大学総長 山口 佳三 (印)

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 25 年度の業務
に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
氏 名	国立大学法人北海道大学 総長 山口佳三

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には
法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人北海道大学 北海道大学病院

3 所在の場所

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目	電話(011)716-1161
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度か つ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 循環器内科 3 血液内科 4 腫瘍内科 5 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に
ついて記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記
入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で
医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	⑥ ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 循環器外科 3 呼吸器外科 4 乳腺外科 5 小児外科 6 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
7産婦人科	⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科
⑬放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	⑥ ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 小児歯科 2 矯正歯科 3 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
72 床	床	床	床	874 床	946 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年 10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	258人	259.75人	517.75人	看護補助者	130人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	104人	51.6人	155.6人	理学療法士	11人	臨床検査技師	78人
薬剤師	57人	人	57人	作業療法士	8人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	11人	その他	人
助産師	24人	人	24人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	836人	25人	855.3人	臨床工学技師	16人	医療社会事業従事者	22人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	13人	人	13人	歯科技工士	6人	事務職員	288人
管理栄養士	7人	人	7人	診療放射線技師	55人	その他の職員	139人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年 6月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	21人	眼科専門医	19人
外科専門医	62人	耳鼻咽喉科専門医	17人
精神科専門医	13人	放射線科専門医	32人
小児科専門医	32人	脳神経外科専門医	22人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	30人
泌尿器科専門医	15人	麻酔科専門医	23人
産婦人科専門医	24人	救急科専門医	14人
		合 計	337人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	796人	19人	815人
1日当たり平均外来患者数	2,280人	705人	2985人
1日当たり平均調剤数			1176剤
必要医師数			214人
必要歯科医師数			38人
必要薬剤師数			43人
必要(准)看護師数			508人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	236 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	病床数	10床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 80 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	6	床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 46 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	534 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	173 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	(主な設備) 孵卵器, オートクレーブ			
病理検査室	445 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	(主な設備) 切り出し台			
病理解剖室	211 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	(主な設備) 剖検台			
研 究 室	399 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	(主な設備)			
講 義 室	37 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	室数	1 室	収容定員	人
図 書 室	160 m ²	鉄骨鉄筋コン クリート	室数	4 室	蔵書数	1400 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算 定 期 間		平成25年4月1日～平成26年3月31日	
紹介率	77.8%	逆紹介率	47.6%
算 出 根 拠	A: 紹介患者の数	15,450	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,934	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	786	人
	D: 初診の患者の数	20,870	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
最小侵襲椎体椎間板搔爬洗浄術	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	2人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法	0人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法	0人
経胎盤的抗不整脈薬投与療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	327	・膿疱性乾癬	20
・多発性硬化症	139	・広範脊柱管狭窄症	6
・重症筋無力症	93	・原発性胆汁性肝硬変	121
・全身性エリテマトーデス	736	・重症急性膵炎	4
・スモン	2	・特発性大腿骨頭壊死症	209
・再生不良性貧血	57	・混合性結合組織病	54
・サルコイドーシス	427	・原発性免疫不全症候群	57
・筋萎縮性側索硬化症	22	・特発性間質性肺炎	18
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	341	・網膜色素変性症	55
・特発性血小板減少性紫斑病	138	・プリオン病	1
・結節性動脈周囲炎	93	・肺動脈性肺高血圧症	46
・潰瘍性大腸炎	215	・神経線維腫症	66
・大動脈炎症候群	72	・亜急性硬化性全脳炎	0
・ビュルガー病	33	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0
・天疱瘡	71	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	26
・脊髄小脳変性症	209	・ライソゾーム病	6
・クローン病	98	・副腎白質ジストロフィー	2
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	26	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
・悪性関節リウマチ	12	・脊髄性筋萎縮症	11
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	363	・球脊髄性筋萎縮症	18
・アミロイドーシス	16	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	22
・後縦靭帯骨化症	155	・肥大型心筋症	81
・ハンチントン病	0	・拘束型心筋症	0
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	192	・ミトコンドリア病	19
・ウェゲナー肉芽腫症	28	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	20
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	103	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	5
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	49	・黄色靭帯骨化症	2
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	19	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	452

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・退院調整加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟) 7対1入院基本料	・救急搬送患者地域連携受入加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟) 13対1入院基本料	・呼吸ケアチーム加算
・臨床研修病院入院診療加算 1基幹型 2協力型	・データ提出加算2
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料3、4
・超急性期脳卒中加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算(一般病棟 25対1)	・小児入院医療管理料2
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・植込型除細動器移行期加算	・植込型心電図検査
・高度難聴指導管理料	・胎児心エコー法
・喘息治療管理料	・時間内歩行試験
・糖尿病合併症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・人工臓腑
・がん患者指導管理料1	・皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来緩和ケア管理料	・脳磁図
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・ロービジョン検査判断料
・糖尿病透析予防指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・ニコチン依存症管理料	・センチネルリンパ節生検(併用)
・がん治療連携計画策定料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・歯科画像診断管理加算1
・薬剤管理指導料	・歯科画像診断管理加算2
・医療機器安全管理料1、2	・ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・歯科治療総合医療管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・持続血糖測定器加算	・冠動脈CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大腸CT撮影加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心臓MRI撮影加算
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・遺伝カウンセリング加算	・外来化学療法加算1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・無菌製剤処理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・緑内障手術[緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)]
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・網膜再建術
・がん患者リハビリテーション料	・人工内耳植込術
・集団コミュニケーション療法料	・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科口腔リハビリテーション科2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・認知療法・認知行動療法1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・精神科作業療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(歯科) 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(歯科)
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算1
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)	・経皮的冠動脈形成術
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・透析液水質確保加算1	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・透析液水質確保加算2	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
・磁気による膀胱等刺激法	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・一酸化窒素吸入療法	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・CAD/CAM冠	・補助人工心臓
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・植込型補助人工心臓(拍動流型)
・組織拡張器による再建手術[乳房(再建手術)の場合に限る]	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	・同種心移植術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経皮的冠動脈遮断術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)	・ダメージコントロール手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下肝切除術	・麻酔管理料(Ⅰ)、(Ⅱ)
・生体部分肝移植術	・放射線治療専任加算
・同種死体肝移植術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・高エネルギー放射線治療
・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	・1回線量増加加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下小切開腎摘出術	・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)
・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・生体腎移植術	・病理診断管理料加算2
・膀胱水圧拡張術	・口腔病理診断管理加算2
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・人工尿道括約筋植込・置換術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・顎口腔機能診断料〔顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る)の手術前後における歯科矯正に
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	・
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	・
・輸血管理料Ⅰ	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	約30件/月
部 検 の 状 況	部検症例数 29 例 / 部 棟 5.98%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マクロファージ由来アポトーシス阻止因子(AIM)の難治性肺疾患の病態における役割	西村 正治	内科 I	2,900,000	補委 日本学術振興会
肺線維化におけるプロテアソームの役割	長井 桂	内科 I	1,600,000	補委 日本学術振興会
抗リン脂質抗体症候群におけるアデノシン二リン酸(ADP)受容体を介した血栓形成機	渥美達也	内科II	1,820,000	補委 日本学術振興会
リコンビナントニックβ2グリコプロテインIIドメインVを用いた血栓症治療の可能性	保田晋助	内科II	1,690,000	補委 日本学術振興会
シェーグレン症候群の疾患感受性遺伝子に関する研究	堀田哲也	内科II	1,560,000	補委 日本学術振興会
医学部及び医学研究科におけるグローバル化促進のための英語教育プログラム	オルガ・アメンゲアル	内科II	1,820,000	補委 日本学術振興会
Sec63コンテナショナルノックマウスによる嚢胞形成機序の解析	西尾妙織	内科II	1,560,000	補委 日本学術振興会
新規医薬品・医療機器などの創出、難治性疾患の治療法の開発および最適な治療法の確立に関する研究	西尾妙織	内科II	6,000,000	補委 厚生労働省
抗リン脂質抗体症候群における補体活性化機序の関与について	奥健志	内科II	910,000	補委 日本学術振興会
新規医薬品・医療機器等の創出、難治性疾患の治療法の開発および最適な治療法の確立に関する研究	大西 俊介	消化器内科	6,240,000	補委 厚生労働省
心筋リモデリングにおけるナチュラルキラーT細胞による炎症制御機構の解明と治療応用	筒井 裕之	循環器内科	4,300,000	補委 日本学術振興会
NKT細胞による炎症制御を活用した梗塞後心破裂の画期的な新規予防法の開発	筒井 裕之	循環器内科	3,770,000	補委 日本学術振興会
骨格筋-脳-心連関を見据えた心不全におけるBDNFの役割の解明	高田 真吾	循環器内科	900,000	補委 日本学術振興会
心筋リモデリングにおけるNox4によるミトコンドリア機能制御の分子機構の解明	松島 将士	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
高血圧性心房電氣的リモデリングに対する伸展活性化チャネル阻害による心房細動治療	横式 尚司	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
ナチュラルキラーT細胞による動脈硬化における慢性炎症遷延化の分子基盤の解明	石森 直樹	循環器内科	1,040,000	補委 日本学術振興会
慢性心不全患者に対するASV療法の心臓交感神経活性に対する効果の解析	榊原 守	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
心筋血流予備能を用いた拡張障害心不全患者における包括的リスク評価	納谷 昌直	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規医薬品・医療機器等の創出、難治性疾患の治療法の開発および最適な治療法の確立に関する研究	筒井 裕之	循環器内科	18,000,000	補委 厚生労働省
GVHDによるホメオスタシス破綻のメカニズム	豊嶋 崇徳	血液内科	6,630,000	補委 日本学術振興会
造血幹細胞移植後不妊の新たなメカニズム	豊嶋 崇徳	血液内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
Ph陽性急性リンパ性白血病のチロシンキナーゼ阻害剤抵抗機序の解析と克服	近藤 健	血液内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
造血幹細胞移植後の免疫病態に関する自然免疫活性化の新規メカニズム	白鳥 聡一	血液内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
血液凝固因子製剤によるHIV感染被害者の長期療養体制の整備に関する患者参加型研究	遠藤 知之	血液内科	1,000,000	補委 厚生労働省
ゲノム情報に基づく肝移植C型肝炎再発に対する革新的治療戦略の構築	武富紹信	消化器外科学分野 I	5,460,000	補委 日本学術振興会
siRNAを用いた肝移植グラフトの革新的体外治療法の開発	武富紹信	消化器外科学分野 I	1,950,000	補委 日本学術振興会
分子標的薬による新たな膵島移植法の開発: 重症糖尿病の克服に向けた新戦略	山下健一郎	移植外科学講座	4,030,000	補委 日本学術振興会
臓器不足解消を目指した画期的脂肪肝グラフト修復法の開発	嶋村剛	臓器移植医療部	8,800,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌悪性度バイオマーカー候補E-FABPの発現、機能解析	横尾英樹	消化器外科 I	1,040,000	補委 日本学術振興会
消化器癌におけるMesothelin分子発現の意義と癌悪性度との関係	蒲池浩文	消化器外科学分野 I	2,470,000	補委 日本学術振興会
消化器癌の微小転移同定システムの臨床応用	崎浜秀康	消化器外科学分野 I	910,000	補委 日本学術振興会
新規バイオマーカーAPC結合蛋白EB1の肝細胞癌発癌進展における分子機構の解明	中西一彰	消化器外科学分野 I	2,080,000	補委 日本学術振興会
大腸癌浸潤・転移におけるHCG β の機能解析とその臨床応用	本間重紀	消化器外科 I	2,340,000	補委 日本学術振興会
細胞治療を併用した新しい免疫寛容誘導法に関する基礎的研究	山下健一郎	移植外科学講座	1,690,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌血管内皮の多様性と新規分子標的薬への応用	高橋典彦	消化器外科 I	2,210,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Genetic・Epigenetic解析を統合した肝芽腫予後予測マーカーの確立	本多昌平	消化器外科 I	1,040,000	補委 日本学術振興会
ヒト化マウス血管移植モデルにおけるヒトアナーキー細胞の慢性拒絶反応抑制効果の検討	後藤了一	消化器外科 I	2,600,000	補委 日本学術振興会
体外でタンパク質を発現させる画期的な心グラフト機能修飾法の開発	若山頭治	消化器外科 I	1,820,000	補委 日本学術振興会
ヒト化マウスによる生体肝移植術後患者の免疫モニタリング法の確立	青柳武史	消化器外科 I	1,430,000	補委 日本学術振興会
内在性繊維芽細胞・基質複合体被覆下における移植腱マトリクス再構築機序の解明と制御	近藤英司	整形外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
生体力学的環境変化により生じる椎間板細胞・組織の変性制御に関する統合的研究	須藤英毅	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチ患者の骨質異常と脆弱性骨折リスク増加の病態	高畑雅彦	整形外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	篠原信雄	泌尿器科	300,000	補委 厚生労働省
尿道下裂症例における思春期以降の排尿動態、内分泌環境、父性獲得能に関する研究	守屋仁彦	泌尿器科	1,690,000	補委 日本学術振興会
排尿障害における前頭前野皮質の役割の解明	橘田岳也	泌尿器科	1,300,000	補委 日本学術振興会
末梢循環腫瘍血管内皮細胞を用いた転移性腎癌患者の診断・治療バイオマーカーの探索	篠原信雄	泌尿器科	780,000	補委 日本学術振興会
間質性膀胱炎モデルにおける膀胱イメージング	三井貴彦	泌尿器科	1,170,000	補委 日本学術振興会
ダイオキシン類介在性アンドロゲン受容体分解による治療抵抗性前立腺癌の治療法開発	丸山 覚	泌尿器科	1,040,000	補委 日本学術振興会
DNゲルを用いた関節軟骨自然誘導を制御する物理・生物学的因子の解明と応用	北村信人	スポーツ医学分野	5,980,000	補委 日本学術振興会
損傷した腱マトリクスの治療過程におけるマクロファージ遊走阻止因子の役割の解明	小野寺純	スポーツ医学分野	2,210,000	補委 日本学術振興会
外傷・敗血症における易血栓性(DIC)遺伝子多型の国際比較研究	丸藤 哲	救急医学分野	8,840,000	補委 日本学術振興会
IL6炎症・抗炎症反応を制御するSTAS3/SOCS3解明による敗血症遺伝子治療	澤村 淳	救急医学分野	2,210,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HIF1 α が関与する心停止後症候群の病態解明と治療法の確立	和田 剛志	救急医学分野	2,210,000	補委 日本学術振興会
運動失調症の病態解明と	佐々木秀直	神経内科	57,600,000	補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究	矢部一郎	神経内科	1,600,000	補委 厚生労働省
神経変性疾患におけるユビキチン	加納崇裕	神経内科	1,820,000	補委 日本学術
グライコプロテイング法を用いた糖尿病網膜症関連糖鎖の探索	石田晋	眼科	1,820,000	補委 日本学術振興会
後眼部DDS強膜リングを用いたレニン-アンジオテンシン系制御による失明疾患治療	石田晋	眼科	4,420,000	補委 日本学術振興会
網膜疾患における受容体随伴プロレニン系と断片別(プロ)レニン受容体の機能解析	神田敦宏	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会
糖尿病網膜症における可溶性VAP-1の産生メカニズムとその病態関与	野田航介	眼科	1,690,000	補委 日本学術振興会
抗炎症・抗酸化作用による正常眼圧緑内障モデル動物の網膜神経節細胞死抑制	新田卓也	眼科	1,000,000	補委 日本学術振興会
α B-crystallinによる脈絡膜血管新生の制御機構	加瀬論	眼科	1,500,000	補委 日本学術振興会
天然由来抗酸化色素によるぶどう膜炎軽症化の検討	水内一臣	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会
翼状片におけるリンパ管新生因子 VEGF-Cとその受容体システムの制御	大口剛司	眼科	1,560,000	補委 日本学術振興会
グラニルグラニルアセトンによる正常眼圧緑内障モデル動物の網膜神経節細胞死抑制	新明康弘	眼科	1,560,000	補委 日本学術振興会
脈絡膜血管新生におけるRNA結合蛋白リン酸化酵素SRPKの役割	齋藤航	眼科	1,690,000	補委 日本学術振興会
難治性内因性ぶどう膜炎における網羅的自己抗体解析研究	大野重昭	眼科	1,170,000	補委 日本学術振興会
白血球接着分子 VAP-1 阻害によるぶどう膜炎軽症化の検討	竹本裕子	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会
糖尿病網膜症におけるGAG糖鎖およびRAGEの関連性解析	吉澤史子	眼科	1,950,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ユビキチンプロテアソーム機能低下による網膜変性の解析	野田実香	眼科	1,950,000	補委 日本学術振興会
網羅的糖鎖解析グライコミクスによるぶどう膜炎炎症増悪マーカー探索	南場研一	眼科	1,500,000	補委 日本学術振興会
ベーチェット病に関する調査研究.	南場研一	眼科	1,000,000	補委 厚生労働省
急性網膜壊死の診断基準に関する調査研究.	南場研一	眼科	1,000,000	補委 厚生労働省
ケルセチン及びイソフラボンの眼組織保護効果.	石田晋	眼科	2,600,000	補委 農林水産省
頭頸部癌におけるEGFRパスウェイ分子の遺伝子変異とタンパク質立体構造変化	本間 明宏	耳鼻咽喉科	650,000	補委 日本学術振興会
高悪性度唾液腺癌に対するオーダーメイド治療の開発	加納 里志	耳鼻咽喉科	2,210,000	補委 日本学術振興会
SIRT1活性化剤によるアレルギー性鼻炎根治に向けた基礎的研究	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科	1,690,000	補委 日本学術振興会
中咽頭癌におけるマイクロRNA解析による新規バイオマーカーの探索	水町 貴論	耳鼻咽喉科	910,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌シグナル伝達ネットワークの解明	畠山 博充	耳鼻咽喉科	650,000	補委 日本学術振興会
基底膜による皮膚細菌叢の制御機構の解明	清水宏	皮膚科	3,770,000	補委 日本学術振興会
角化におけるミトコンドリアの関与の検討	阿部理一郎	皮膚科	3,770,000	補委 日本学術振興会
家族性慢性膿皮症の発症機序の解明と新規治療法の開発	乃村俊史	皮膚科	2,080,000	補委 日本学術振興会
iPS細胞を応用した表皮水疱症の根本的治療法の開発	藤田靖幸	皮膚科	13,900,000	補委 日本学術振興会
プラスミンをターゲットとした水疱性類天疱瘡の発症機序解明	中村秀樹	皮膚科	1,950,000	補委 日本学術振興会
7型コラーゲンプロモーターを標的にした劣性栄養障害型表皮水疱症の新規治療法の開発	有田賢	皮膚科	1,950,000	補委 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎の新規治療法の開発	浜坂明日香	皮膚科	2,080,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
表皮水疱症に対する造血幹細胞移植療法の確立	清水宏	皮膚科	11,960,000	補委 日本学術振興会
重症薬疹の発症病態解明に対する包括的検討	阿部理一郎	皮膚科	4,290,000	補委 日本学術振興会
重症薬疹の病態解明および発症予測、重症度予測マーカーの検索	阿部理一郎	皮膚科	33,150,000	補委 厚生労働省
17型コラーゲン発現制御による画期的水疱症モデルの作成と応用	西江渉	皮膚科	4,600,000	補委 日本学術振興会
補体をターゲットとした水疱性類天疱瘡の新規治療法の開発	芝木晃彦	皮膚科	1,040,000	補委 日本学術振興会
17型コラーゲンが制御する表皮基底細胞遊走メカニズムの解明	伊藤圭	皮膚科	2,080,000	補委 日本学術振興会
先天性魚鱗癬様紅皮症並びに葉状魚鱗癬患者における新規遺伝子変異解析	大澤倫子	皮膚科	1,820,000	補委 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎患者におけるフィラグリン2遺伝子変異解析	長谷部育恵	皮膚科	1,820,000	補委 日本学術振興会
もやもや病における血管内皮前駆細胞の病態解析	寶金 清博	脳神経外科	3,120,000	補委 日本学術振興会
急性期脳虚血に対する経脳室および経動脈冷却灌流による複合的局所脳低温療法の開発	鏡谷 武雄	脳神経外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
脳梗塞に対する自己骨髄間質細胞移植治療の研究	七戸 秀夫	脳神経外科	4,550,000	補委 日本学術振興会
表現促進現象を有する家族性もやもや病のCNV解析	吉本 哲之	脳神経外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
脳微小血管内皮細胞の老化、細胞特性におけるSIRT1の病態的役割についての解明	寶金 清博	脳神経外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	寶金 清博	脳神経外科	2,300,000	補委 厚生労働省
フォン・ヒッペル・リンドウ病の診療指針に基づく診断治療体制確立の研究	寶金 清博	脳神経外科	150,000	補委 厚生労働省
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第Ⅲ相臨床研究	小林 浩之	脳神経外科	500,000	補委 厚生労働省
新規医薬品・医療機器等の創出、難治性疾患の治療法の開発および最適な治療	寶金 清博	脳神経外科	4,200,000	補委 厚生労働省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する効果的な社会復帰支援に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	0	補委 厚生労働省
高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	700,000	補委 厚生労働省
脳機能イメージングによるミラーセラピーのメカニズム解析	生駒一憲	リハビリテーション科	1,170,000	補委 日本学術振興会
異常胎児心拍パターンと胎児-母体輸血症候群の関係	水上尚典	産科	1,040,000	補委 日本学術振興会
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性及び安全性に関する研究	櫻木 範明	婦人科	1,600,000	補委 厚生労働省
子宮体癌における発癌microRNAとその標的分子の同定	渡利 英道	婦人科	1,820,000	補委 日本学術振興会
マイクロRNAの発現と上皮性卵巣がんの臨床像との関連に関する研究	金内 優典	婦人科	1,040,000	補委 日本学術振興会
婦人科悪性腫瘍の形質に与えるRNA結合蛋白質ZFP36の役割の解明	保坂 昌芳	婦人科	1,430,000	補委 日本学術振興会
がんに対する正しい知識・態度・意識の涵養を目指す小中学生向けがん教育教材の開発	シャロン・ハンリー	婦人科	6,890,000	補委 日本学術振興会
医歯薬学専門領域とくにかん研究分野にかかる学術研究動向に関する調査研究及び学術振興方策に関する調査研究	櫻木 範明	婦人科	5,000,000	補委 日本学術振興会
分子生物学的研究・大規模臨床研究・統計解析の集約によるインフルエンザ治療の再評価	石黒信久	感染制御部	2,470,000	補委 日本学術振興会
自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究	石黒信久	感染制御部	1,000,000	補委 厚生労働省
脳磁場計測を用いた乳児・小児障害脳における言語機能獲得の予後評価	白石秀明	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
稀少難治性てんかんに関する調査研究	白石秀明	小児科	900,000	補委 厚生労働省
傍シルビウス裂症候群の実態調査と診断基準の作成に関する研究	白石秀明	小児科	500,000	補委 厚生労働省
動体追跡放射線治療への応用を目的とした一方向X線透視による呼吸モニタの開発	宮本直樹	放射線治療科	2,470,000	補委 日本学術振興会
動体追跡装置を用いた「体内臓器の動き」のモデル化に関する研究	鈴木隆介	放射線治療科	2,990,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代型ヒト用半導体PETの脳腫瘍治療戦略への応用	志賀哲	核医学	1,560,000	補委 日本学術振興会
呼吸器疾患に伴う心血管疾患の検出、治療戦略構築へのポジロン断層撮影法の導入	吉永恵一郎	分子イメージング	2,990,000	補委 日本学術振興会
上腕動脈血管機能測定による動脈硬化症早期診断のための生理的機能診断システム構築	吉永恵一郎	分子イメージング	780,000	補委 日本学術振興会
脳内セロトニントランスポーター機能異常と頭部異常後の高次脳機能障害	服部直也	分子イメージング	1,690,000	補委 日本学術振興会
超高磁場3テスラ磁気共鳴装置による冠動脈病変の解剖・機能的早期検出方法の確立	真鍋治	核医学	1,560,000	補委 日本学術振興会
癌に対する線量増加放射線治療の理論確立:FMISO-PETを用いた再酸素化の証明	岡本祥三	核医学	2,600,000	補委 文部科学省
肺癌血管内皮細胞を標的とした分子標的治療とコンパニオン診断薬の開発	樋田泰浩	循環器・呼吸器外科	2,860,000	補委 日本学術振興会
Toll様受容体とケモカインに着目した歯槽骨代謝機構の解明	中村 公也	予防歯科	1,820,000	補委 日本学術振興会
新しい口臭測定シートの開発	兼平 孝	予防歯科	780,000	補委 日本学術振興会
垂直歯根破折の破折間隙にセメント質を誘導してレジンと結合させる治療法の開発	菅谷勉	歯周・歯内療法科	2,080,000	補委 日本学術振興会
空間的ドラッグデリバリーシステムによる成長因子複合移植法の開発	齋藤恵美子	歯周・歯内療法科	1,300,000	補委 日本学術振興会
培養細胞シートとナノコーティングスキャホールドによる歯周組織再生	下地伸司	歯周・歯内療法科	650,000	補委 日本学術振興会
培養細胞シートとナノコーティングスキャホールドを用いた新規歯周組織再生療法の開発	加藤昭人	歯周・歯内療法科	650,000	補委 日本学術振興会
ナノ技術を応用したレジン上への歯周組織再生を伴う接着治療法の治療	田中佐織	歯周・歯内療法科	1,430,000	補委 日本学術振興会
ナノカーボンコーティングを用いた新規歯周病治療法	宮治裕史	歯周・歯内療法科	1,300,000	補委 日本学術振興会
炭酸カルシウム複合化レジンとBMP-2含浸アテロコラーゲンをを用いた骨増生法の開発	中塚愛	歯周・歯内療法科	780,000	補委 日本学術振興会
FGF徐放性超気孔性β-TCPと培養細胞シートを用いた歯周組織再生療法の開発	竹生寛恵	歯周・歯内療法科	1,040,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
睡眠時無呼吸症候群と睡眠時ブラキシズムの関連性解明への包括的アプローチ	山口 泰彦	高次口腔	2,200,000	補委	日本学術振興会
超微小で長時間の歯のくいしばりが与える咀嚼筋への悪影響	大畑 昇	第二補綴	790,633	補委	日本学術振興会
咀嚼筋における血流動態を含めた非侵襲型機能特定評価法の開発と応用	有馬 太郎	第二補綴	626,380	補委	日本学術振興会
咬合異常感と口腔内装置許容能力の関連性の検討ー脳磁図による定量的評価	佐藤 華織	第二補綴	1,170,000	補委	日本学術振興会
再石灰化能を有する象牙質知覚過敏症治療剤の長期耐久性への挑戦	奥山克史	歯冠修復科	1,871,628	補委	日本学術振興会
う蝕感受性関連タンパク質のジェノタイプング	松田康裕	歯冠修復科	910,000	補委	日本学術振興会
骨芽細胞組み込み型人工骨による顎堤再建へのGBR法の応用	大堀ことは	義歯補綴科	1,300,000	補委	日本学術振興会
オッセオインテグレーション阻害因子の解明と臨床応用への展開	堀内留美	義歯補綴科	650,000	補委	日本学術振興会
最適化手法を用いた骨質評価法とインプラント形状の選択法の確立	高山芳幸	義歯補綴科	3,900,000	補委	日本学術振興会
糖尿病患者における機械的刺激に対する微小血管応答性の変化とその要因	飯田順一郎	矯正歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
糖尿病高血糖により生じる破壊的歯槽骨吸収を抑制する力学条件の解明	佐藤嘉晃	矯正歯科	700,000	補委	日本学術振興会
ナノコンポジット構造を持ち抗菌活性を有する歯科矯正用透明ワイヤーの開発	山方秀一	矯正歯科	900,000	補委	日本学術振興会
頭蓋顔面形態異常におけるゲノムワイドな遺伝的関連解析	斉藤文男	矯正歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
不正咬合自然発症マウスを用いた頭蓋額顔面発育異常のメカニズムの解明	塚本祐理	矯正歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
乳歯歯髓由来幹細胞における未分化維持機構の解明	芝田健二郎	矯正歯科	1,820,000	補委	日本学術振興会
鼻上顎複合体の劣成長の要因に対する基礎的研究	高橋邦彰	矯正歯科	1,170,000	補委	日本学術振興会
幹細胞を用いた顎骨再生に関する基礎的研究	福島久夢	矯正歯科	1,690,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
『低酸素遺伝子応答分子イメージングに基づく新しい口腔癌治療戦略』	北川善政	口腔内科	5,000,000	補委 日本学術振興会
『嚥下関連筋群に対する神経筋電気刺激療法後のエネルギー代謝と筋病理学的解析』	北川善政	口腔内科	2,300,000	補委 日本学術振興会
『口腔がんの発生にかかわるRNA結合タンパクの分解制御機構解明』	石川 誠	高次口腔	1,560,000	補委 日本学術振興会
『交感神経活動が咀嚼筋の痛み、分化、機能および神経線維分布に与える影響』	佐藤 淳	口腔内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
『口腔がんが発現しているARE-mRNAを制御するための試み』	佐藤千晴	口腔内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
『7型コラーゲンKOマウスにおけるエナメル質形成不全発症機構の検索』	浅香卓哉	口腔内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
『口腔癌における低酸素非依存的代謝活性亢進機構の解明』	宮腰昌明	口腔内科	910,000	補委 日本学術振興会
『がんの転移能と腫瘍血管内皮細胞の異常性との関連』	大賀則孝	口腔内科	950,000	補委 日本学術振興会
『口腔癌におけるDN変異p53の個別化医療のバイオマーカーとしての有用性』	吉川和人	口腔内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
低侵襲化をめざした口唇口蓋裂治療体系の開発と多施設比較による有効性の検	三古谷 忠	高次口腔医療センター	1,170,000	補委 日本学術振興会
口腔がん血管由来因子の診断法への応用	小野 貢伸	口腔外科	2,470,000	補委 日本学術振興会
口腔癌周囲環境のアラキドン酸カスケード経路をターゲットとした治療法の開発	小堀 善則	口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨内の上皮間葉転換における脱ユビキチン化酵素USP45の役割の解明	田中 宗一	口腔外科	2,270,000	補委 日本学術振興会
口腔内扁平上皮癌に対するMR顕微鏡の開発	箕輪 和行	歯科放射線科	2,100,000	補委 日本学術振興会
歯科治療恐怖症患者における音楽鎮静の効果ー自律神経活動の面からの検討ー	藤澤 俊明	歯科麻酔学教室	1,400,000	補委 日本学術振興会
延髄侵害受容システムの可塑的变化におけるグリア細胞機能の免疫組織化学的検討	詫間 滋	歯科麻酔学教室	800,000	補委 日本学術振興会
核磁気共鳴法と電子スピン共鳴法を用いた全身麻酔薬の作用部位に関する研究	渋谷 真希子	歯科麻酔学教室	1,500,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	清水力	検査・輸血部	1,000,000	補委 厚生労働省
NKG2Dリガンドのがん抗体療法における役割解明とこれを用いた治療効果予測	松野吉宏	病理診断科	1,690,000	補委 日本学術振興会
治療効果予測困難な現行のEGFR抗体治療における新規予測検査法の開発	畑中 豊	病理診断科	1,690,000	補委 日本学術振興会
遺伝子プロファイリングおよび細胞形態に基づく膵癌分子サブタイピング法の確立	三橋智子	病理診断科	1,690,000	補委 日本学術振興会
中枢神経原発悪性リンパ腫の生物学的特性の解明と治療効果予測因子の同定	畑中佳奈子	病理診断科	1,690,000	補委 日本学術振興会
臓器不足解消を目指した画期的脂肪肝グラフト修復法の開発	嶋村 剛	臓器移植医療部	8,800,000	補委 日本学術振興会
移植医療の社会的基盤に関する研究	嶋村 剛	日本臓器移植ネットワーク	1,600,000	補委 厚生労働省
NSAIDsの消化管吸収に関する研究	鳴海克哉	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
乳酸輸送担体が糖尿病進行のバイオマーカーとなるか？	樋口一世	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
抗MRSA薬ダプトマイシンの血中濃度と副作用発現リスクとの関連	石川修平	薬剤部	500,000	補委 日本学術振興会

小計 10

合計 181

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Nagaoka K	内科 I	Macrolides inhibit Fusobacterium nucleatum-induced MUC5AC production in human airway epithelial cells	Antimicrob Agents Chemother
2	Taniguchi N	内科 I	The CC16 A38G polymorphism is associated with asymptomatic airway hyper-responsiveness and development	Ann Allergy Asthma Immunol
3	Asahina H	内科 I	Safety and tolerability of AZD8055 in Japanese patients with advanced solid tumors; a dose-finding phase I study	Invest New Drugs
4	Sato T	内科 I	Simple prediction of right ventricular ejection fraction using tricuspid annular plane systolic excursion in pulmonary hypertension	Int J Cardiovasc Imaging
5	Sato T	内科 I	Paradoxical interventricular septal motion as a major determinant of late gadolinium enhancement in ventricular insertion points in pulmonary hypertension	PLoS One
6	Sato T	内科 I	Right atrial volume and phasic function in pulmonary hypertension	Int J Cardiol
7	Yuichi Shimizu	消化器内科	Endoscopic in vivo cellular imaging of superficial squamous cell carcinoma of the head and neck by using an integrated endocytoscopy system (with video).	Gastrointest Endosc.
8	Mitsuyama H	循環器内科	Involvement of the phosphatidylinositol kinase pathway in augmentation of ATP-sensitive K ⁺ channel currents by hypo-osmotic stress in rat ventricular myocytes.	Can J Physiol Pharmacol, 2013.91(9):686-692
9	Tsuchihashi-Makaya M	循環器内科	Home-based disease management program to improve psychological status in patients with heart failure in Japan.	Circ J, 2013.77(4):926-933
10	Daida H	循環器内科	Management and two-year long-term clinical outcome of acute coronary syndrome in Japan.	Circ J, 2013.77(4): 934-943
11	Yamada S	循環器内科	Acute hemodynamic effects of adaptive servo-ventilation in patients with heart failure.	Circ J, 2013.77(5):1214-1220

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
12	Yokoshiki H	循環器内科	Anticoagulation management in perioperative phase of implantable cardioverter-defibrillator implantation.	Circ J, 2013.77(11):2757-2765
13	Iwano H	循環器内科	Strain rate dispersion index can predict the changes in left ventricular volume and adverse cardiac events following cardiac resynchronization therapy.	Circ J, 2013.77(11):2757-2765
14	Ishimori N	循環器内科	Report of the American Heart Association (AHA) Scientific Sessions 2013, Dallas.	Circ J, 2013.78(1);51-56
15	Matsushima S	循環器内科	Increased oxidative stress in the nucleus caused by Nox4 mediates oxidation of HDAC4 and cardiac hypertrophy.	Circ Res, 2013.112(4):651-663
16	Matsushima S	循環器内科	Broad suppression of NADPH oxidase activity exacerbates ischemia/reperfusion injury through inadvertent downregulation of HIF-1 α and upregulation of PPAR α .	Circ Res, 2013.112(8):1135-1149
17	Yokota T	循環器内科	Systemic oxidative stress is associated with lower aerobic capacity and impaired skeletal muscle energy metabolism in patients with metabolic syndrome.	Diabetes Care, 2013.36(5):1341-1346
18	Satoh H	循環器内科	The relation between habitual sleep duration and blood pressure values in Japanese male subjects.	Environ Health Prev Med, 2013.18(3):215-220
19	Chiba S	循環器内科	Interrelation between myocardial oxidative metabolism and diastolic function in patients undergoing surgical ventricular reconstruction.	Eur J Nucl Med Mol Imaging, 2013.40(3):349-355
20	Hamaguchi S	循環器内科	Weekend versus weekday hospital admission and outcomes during hospitalization for patients due to worsening heart failure: a report from Japanese Cardiac Registry of Heart Failure in Cardiology (JCARE-CARD)	Heart Vessels, 2013.doi 10.1007/s00380-013-0359-5
21	Andoh Y	循環器内科	Natural killer T cells are required for lipopolysaccharide-mediated enhancement of atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice.	Immunobiology, 2013.218(4):561-569
22	Okamoto H	循環器内科	Minimal dose for effective clinical outcome and predictive factors for responsiveness to carvedilol: Japanese chronic heart failure (J-CHF) study.	Int J Cardiol, 2013.164(2):238-244
23	Fukushima A	循環器内科	Increased plasma soluble (pro)renin receptor levels are correlated with renal dysfunction in patients with heart failure.	Int J Cardiol, 2013.168(4):4313-4314
24	Fukushima A	循環器内科	Decreased serum brain-derived neurotrophic factor levels are correlated with exercise intolerance in patients with heart failure.	Int J Cardiol, 2013.168(5):e142-144

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
25	Fujita T	循環器内科	Sarcomere gene mutations are associated with increased cardiovascular events in left ventricular hypertrophy.	JACC Heart Fail, 2013.1(6):459-466
26	Naya M	循環器内科	Prognostic interplay of coronary artery calcification and underlying vascular dysfunction in patients with suspected coronary artery disease.	J Am Coll Cardiol, 2013.61(20):2098-2106
27	Naya M,	循環器内科	Reply: all vasodilators are not equal.	J Am Coll Cardiol, 2013.62(12):1129
28	Blankstein R,	循環器内科	Cardiac positron emission tomography enhances prognostic assessments of patients with suspected cardiac sarcoidosis.	J Am Coll Cardiol, 2014.63(4):329-336
29	Takada S,	循環器内科	Angiotensin II receptor blocker improves the lowered exercise capacity and impaired mitochondrial function of the skeletal muscle in type 2 diabetic mice.	J Appl Physiol, 2013.114(7):844-857
30	Shimizu A	循環器内科	Current status of cardiac resynchronization therapy with defibrillators and factors influencing its prognosis in Japan.	J Arrhythmia, 2013.29(3):168-174
31	Goto D	循環器内科	Clinical characteristics and outcomes of dilated phase of hypertrophic cardiomyopathy: Report from the registry data in Japan	J Cardiol, 2013.61(1):65-70
32	Matsuzaki M	循環器内科	Efficacy and safety of a 60-week treatment with candesartan in Japanese patients with mild to moderate chronic heart failure.	J Cardiol, 2013.61(4): 267-274
33	Hamaguchi S	循環器内科	Characteristics, management, and outcomes for patients during hospitalization due to worsening heart failure-A report from the Japanese Cardiac Registry of Heart Failure in Cardiology (JCARE-CARD).	J Cardiol, 2013.62(2):95-101
34	Abe A	循環器内科	Coexisting cardiac diseases and pressure recovery phenomenon contribute to discrepancy between echocardiographic severity of aortic stenosis and left ventricular hypertrophy.	J Echocardiogr, 2013.11(2):41-49
35	Homma T	循環器内科	Activation of invariant natural killer T cells by α -galactosylceramide ameliorates myocardial ischemia/reperfusion injury in mice.	J Mol Cell Cardiol, 2013.62:179-188
36	Yokoshiki H	循環器内科	Suppression of ventricular fibrillation by electrical modification of the Purkinje system in hypertrophic cardiomyopathy.	Heart Vessels, 2013. Doi 10.1007/s00380-013-0423-1
37	Watanabe M	循環器内科	Unique preferential conduction within the isolated septal substrate in a patient with ventricular tachycardia complicated with non-ischemic dilated cardiomyopathy.	J Electrocardiol, 2013.46(6):682-685

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
38	Osborne M,	循環器内科	Use of multimodality imaging to diagnose cardiac sarcoidosis as well as identify recurrence following heart transplantation.	J Nucl Cardiol, 2013.20(2):310-312
39	Zschauer TC	循環器内科	Interacting with thioredoxin-1 - disease or no disease?	Antioxid Redox Signal, 2013.18(9):1053-1062
40	Okita K,	循環器内科	Exercise intolerance in chronic heart failure.	Circ J, 2013.77(2):293-300
41	Iwano H	循環器内科	What does ejection fraction have to do with it?	J Cardiol, 2013.62(1):1-3
42	Okita K	循環器内科	Application of blood flow restriction in resistance exercise assessed by intramuscular metabolic stress.	J Nov Physiother, 2013.3:187. doi:10.4172/2165-7025.1000187
43	Morita N	循環器内科	Influence of stretch and pressure as mechanical stresses on skeletal muscle.	Jpn J Phys Fitness Sports Med, 2013.62(4): 347-350
44	Tsuchiashi-Makaya M	循環器内科	Nutrition as a new treatment target in chronic heart failure.	Circ J, 2013.77(3):604-605
45	Shima T	血液内科	A novel filtration method for cord blood processing using a polyester fabric filter.	Int J Lab Hematol
46	Miyatake Y	血液内科	Protective Roles of epithelial cells in the survival of adult T-cell leukemia/lymphoma cells	Am J Pathol
47	Uchida M	血液内科	Effectiveness and safety of antiemetic aprepitant in Japanese patients receiving high-dose chemotherapy prior to autologous hematopoietic stem cell transplantation	Biol Pharm Bull
48	Uchida M	血液内科	Efficacy and safety of aprepitant in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Pharmacotherapy
49	Shimoji S	血液内科	Evaluating the association between histological manifestations of cord colitis syndrome with GVHD	Bone Marrow Transplant
50	Eto T	血液内科	Autologous peripheral blood stem cell transplantation with granulocyte colony-stimulating factor combined conditioning regimen as a postremission therapy for acute myelogenous leukemia in first complete remission	Int J Hematol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
51	Muroi K	血液内科	Unrelated allogeneic bone marrow-derived mesenchymal stem cells for steroid refractory acute graft-versus-host disease: a phase I/II study	Int J Hematol
52	Miyamoto T	血液内科	Combination of high-dose melphalan and bortezomib as conditioning regimen for autologous peripheral blood stem cell transplantation in multiple myeloma	Int J Hematol
53	Aoyama K	血液内科	Inhibiting retinoic acid signaling ameliorates graft-versus-host disease by modifying T-cell differentiation and intestinal migration	Blood
54	Eriguchi Y	血液内科	Reciprocal expression of enteric antimicrobial proteins in intestinal graft-versus-host disease.	Biol Blood Marrow Transplant.
55	Koyama M	血液内科	Expansion of donor-reactive host T cells in primary graft failure after allogeneic hematopoietic SCT following reduced-intensity conditioning	Bone Marrow Transplant
56	Ito Y	血液内科	Clinical outcomes of allogeneic stem cell transplantation for relapsed or refractory follicular lymphoma: a retrospective analysis by the Fukuoka Blood and Marrow Transplantation Group	Int J Hematol
57	Sugiyama H	血液内科	Mammalian target of rapamycin inhibitors permit regulatory T cell reconstitution and inhibit experimental chronic graft-versus-host disease	Biol Blood Marrow Transplant
58	Shono Y	血液内科	Bone marrow graft-versus-host disease: evaluation of its clinical impact on disrupted hematopoiesis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant
59	Nishijima T	血液内科	Abacavir/Lamivudine versus Tenofovir/Emtricitabine with Atazanavir/Ritonavir for treatment-naïve Japanese patients with HIV-1 infection: A randomized multicenter trial.	Internal Medicine
60	Nishijima T	血液内科	Switching tenofovir/emtricitabine plus lopinavir/r to raltegravir plus Darunavir/r in patients with suppressed viral load did not result in improvement of renal function but could sustain viral suppression: a randomized multicenter trial.	PLoS One
61	Schmeel LC	血液内科	Targeting the wnt/beta-catenin pathway in multiple myeloma.	Anticancer Res
62	Chow A	血液内科	CD169 ⁺ macrophages provide a niche promoting erythropoiesis under homeostasis and stress.	Nat Med.
63	Hashimoto D	血液内科	Tissue-resident macrophages self-maintain locally throughout adult life with minimal contribution from circulating monocytes.	Immunity

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
64	Kako S	血液内科	Outcome after first relapse in adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukaemia.	Br J Haematol.
65	Torimoto Y	血液内科	A retrospective clinical analysis of Japanese patients with peripheral T-cell lymphoma not otherwise specified: Hokkaido Hematology Study Group	Int J Hematol.
66	Kanamori H	血液内科	Reduced-intensity allogeneic stem cell transplantation for patients aged 50 years or older with B-cell ALL in remission: a retrospective study by the Adult ALL Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.	Bone Marrow Transplant
67	Kato K	血液内科	Diffuse panbronchiolitis after humanized anti-CCR4 monoclonal antibody therapy for relapsed adult T-cell leukemia/lymphoma	Int J Hematol
68	Tsutsumi Y	血液内科	No effect of humanized CCR monoclonal antibody (Mogamulizumab) on treatment-resistant adult T-cell leukemia with meningeal infiltration.	Leuk Lymphoma
69	Nakaike T	血液内科	Reduced-intensity conditioning followed by cord blood transplantation in a patient with refractory folliculotropic mycosis fungoides	Int J Hematol
70	Shiratori S	血液内科	Successful Engraftment in HLA-Mismatched Bone Marrow Transplantation despite the Persistence of High-Level Donor-Specific Anti-HLA-DR Antibody	Transplantation
71	Ohe M	血液内科	Successful treatment of recurrent follicular B-cell lymphoma with clarithromycin, prednisolone, and cyclophosphamide.	Korean J Intern Med
72	Hashino S	血液内科	Fungemia due to Trichosporon dermatis in a patient with refractory Burkitt's leukemia.	Blood Res
73	Tsutsumi Y	血液内科	Hepatitis B virus reactivation with rituximab-containing regimen	World J Hepatol
74	Yamakawa T	血液内科	Paravertebral extramedullary tumor of chronic myelogenous leukemia	International journal of hematology and oncology
75	Takashima S	血液内科	Comparison of bortezomib, cyclophosphamide, and dexamethasone (VCD) induction with bortezomib and dexamethasone (BD) induction for newly diagnosed symptomatic multiple myeloma	International Journal of Myeloma
76	Shiratori S	血液内科	Stenotrophomonas maltophilia infection during allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: a single-center experience	Clin Transplant

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
77	Shigematsu A	血液内科	High Level of Serum Soluble Interleukin-2 Receptor at Transplantation Predicts Poor Outcome of Allogeneic Stem Cell Transplantation for Adult T Cell Leukemia	Biol Blood Marrow Transplant
78	Hayase E	血液内科	Epstein-Barr Virus-Associated Smooth Muscle Tumors After Bone Marrow Transplantation	Transplantation
79	Mortha A	血液内科	Microbiota-dependent crosstalk between macrophages and ILC3 promotes intestinal homeostasis.	Science
80	Jiao J	血液内科	Central role of conventional dendritic cells in regulation of bone marrow release and survival of neutrophils.	J Immunol
81	Bongers G	血液内科	Interplay of host microbiota, genetic perturbations, and inflammation promotes local development of intestinal neoplasms in mice.	J Exp Med
82	Agudo J	血液内科	The miR-126-VEGFR2 axis controls the innate response to pathogen-associated nucleic acids.	Nat Immunol
83	Nakano K	血液内科	Identification of IgG- κ type macroprolactin found in the serum of an 8-year-old girl.	Clin Chim Acta
84	Ohe M	血液内科	Successful treatment of primary immune thrombocytopenia in aged patients using clarithromycin.	J Formos Med Assoc
85	Nabekura T	血液内科	Costimulatory molecule DNAM-1 is essential for optimal differentiation of memory natural killer cells during mouse cytomegalovirus infection	Immunity
86	Baghdadi M	腫瘍内科	Combined blockade of TIM-3 and TIM-4 augments cancer vaccine efficacy against established melanomas	Cancer Immunol Immunother
87	Inoue A	腫瘍内科	Updated overall survival results from a randomized phase III trial comparing gefitinib with carboplatin-paclitaxel for chemo-naïve non-small cell lung cancer with sensitive EGFR gene mutations (NEJ002)	Ann Oncol
88	Harada T	腫瘍内科	A Phase II Study of Amrubicin as a Third-Line or Fourth-Line Chemotherapy for Patients With Non-Small Cell Lung Cancer: Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group Trial (HOT) 0901	Oncologist
89	Baghdadi M	腫瘍内科	TIM-4 glycoprotein-mediated degradation of dying tumor cells by autophagy leads to reduced presentation of tumor antigens and immune tolerance	Immunity

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
90	Tsuruga Y	消化器外科 I	Portal vein stenosis after pancreatectomy following neoadjuvant chemoradiation therapy for pancreatic cancer.	World J Gastroenterol. 2013 Apr 28;19(16):2569-73.
91	Honda S	消化器外科 I	Spontaneous rupture of an advanced pancreatoblastoma: aberrant RASSF1A methylation and CTNNB1 mutation as molecular genetic markers.	J Pediatr Surg. 2013 Apr;48(4):e29-32.
92	Kakisaka T	消化器外科 I	An intraductal papillary neoplasm of the bile duct mimicking a hemorrhagic hepatic cyst: a case report.	World J Surg Oncol. 2013 May 24;11:111.
93	Kamiyama T	消化器外科 I	Identification of novel serum biomarkers of hepatocellular carcinoma using glycomic analysis.	Hepatology. 2013 Jun;57(6):2314-25.
94	Okada T	消化器外科 I	Liver fibrosis in prenatally diagnosed choledochal cysts.	J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2013 Aug;57(2):e14.
95	Wakayama K	消化器外科 I	Surgical management of hepatocellular carcinoma with tumor thrombi in the inferior vena cava or right atrium.	World J Surg Oncol. 2013 Oct 5;11:259
96	Honda S	消化器外科 I	RASSF1A methylation indicates a poor prognosis in hepatoblastoma patients.	Pediatr Surg Int. 2013 Nov;29(11):1147-52.
97	Kawamata F	消化器外科 I	C-ERC/mesothelin provokes lymphatic invasion of colorectal adenocarcinoma.	J Gastroenterol. 2014 Jan;49(1):81-92.
98	宮坂大介	消化器外科 II	Clinical evaluation of the feasibility of minimally invasive surgery in esophageal cancer.	Asian J Endosc Surg
99	七戸俊明	消化器外科 II	Thoracoscopic enucleation of esophageal submucosal tumor by prone position under artificial pneumothorax by CO2 insufflation.	SURG LAPARO ENDO PER
100	土川貴裕	消化器外科 II	Modified duodenum-preserving resection of the head of the pancreas for low-grade malignant lesion in the pancreatic head.	Pancreatology
101	中西喜嗣	消化器外科 II	New invagination procedure for pancreaticojejunostomy using only four sutures: Reply.	World J Surg
102	土川貴裕	消化器外科 II	Operative and perioperative management experience for hepatobiliary malignancies following ERCP-related pancreatitis.	Hepato-Gastroenterol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
103	土川貴裕	消化器外科Ⅱ	Novel aspects of preoperative chemo(radiation)therapy improving anti-tumor immunity in pancreatic cancer.	Cancer Sci
104	海老原裕磨	消化器外科Ⅱ	Outcome of functional end-to-end esophagojejunostomy in totally laparoscopic total gastrectomy.	Langenbecks Arch Surg
105	石川慶大	消化器外科Ⅱ	Method for the validation of immunohistochemical staining using SCID mouse xenografts: Expression of CD40 and CD154 in human non-small cell lung cancer.	Oncol Rep
106	芦立嘉智	消化器外科Ⅱ	Quantitative assessment of nipple perfusion with near-infrared fluorescence imaging.	Ann Plast Surg
107	芦立嘉智	消化器外科Ⅱ	Intraoperative prediction of postoperative flap outcome using the near-infrared fluorophore methylene blue.	Ann Plast Surg
108	中西喜嗣	消化器外科Ⅱ	Differences in risk factors between patterns of recurrence in patients after curative resection for advanced gastric carcinoma.	World J Surg Oncol
109	中村 透	消化器外科Ⅱ	Triclosan-coated sutures reduce the incidence of wound infections and the costs after colorectal surgery: a randomized controlled trial.	Surgery
110	鈴木 温	消化器外科Ⅱ	Lesser curvature approach in laparoscopic distal pancreatectomy.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech
111	新田健雄	消化器外科Ⅱ	Pancreatic ductal adenocarcinomas with multiple large cystic structures: A clinicopathologic and immunohistochemical study of seven cases.	Pancreatology
112	田中栄一	消化器外科Ⅱ	Simultaneous Near-Infrared Fluorescence Imaging of the Bile Duct and Hepatic Arterial Anatomy for Image-Guided Surgery.	Frontiers of Gastrointestinal Research Fluorescent Imaging -Treatment of Hepatobiliary and Pancreatic Diseases
113	里井壮平	消化器外科Ⅱ	Role of adjuvant surgery for patients with initially unresectable pancreatic cancer with a long-term favorable response to non-surgical anti-cancer treatments: results of a project study for pancreatic surgery by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	J HepatoBiliary Pancreat Sci
114	大高和人	消化器外科Ⅱ	Outcome Analysis of 18F-Fluorodeoxyglucose Positron-Emission Tomography in Patients with Lung Cancer After Partial Volume Correction.	Anticancer Res
115	道免寛充	消化器外科Ⅱ	Histopathologic characterization of lung adenocarcinoma in relation to fluorine-18-fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography.	Jpn J Clin Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
116	七戸俊明	消化器外科Ⅱ	One-stage radical operation of aorto-esophageal fistula- combination of VATS esophagectomy and open aortic surgery: report of a case.	Esophagus
117	大高和人	消化器外科Ⅱ	Limited resection and two-staged lobectomy for non-small cell lung cancer with ground-glass opacity.	J Cardiothorac Surg
118	加賀 基知三	循環器・呼吸器外科	Reduced port video-assisted thoracoscopic surgery using a needle scope for lung and mediastinal lesions.	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery. 17
119	若狭 哲	循環器・呼吸器外科	Impact of left ventricular remodelling on outcomes after left ventriculoplasty for ischaemic cardiomyopathy	Japanese surgical ventricular reconstruction group experience. Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery. 16:
120	久保田 卓	循環器・呼吸器外科	Surgical strategy for aorto-esophageal fistula in the endovascular era	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 61(10)
121	久保田 卓	循環器・呼吸器外科	Preoperative Regional Left Ventricular Wall Thickening Determined by Quantitative Gated SPECT as a Predictor of Mid-Term Surgical Results for Ischemic and Nonischemic Cardiomyopathy.	Circulation Journal. 77(12)
122	道免 寛充	循環器・呼吸器外科	Histopathologic characterization of lung adenocarcinoma in relation to fluorine-18-fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography	Japanese Journal of Clinical Oncology. 43(9)
123	若狭 哲	循環器・呼吸器外科	Risk scores for predicting mortality after surgical ventricular reconstruction for ischemic cardiomyopathy	Results of a Japanese multicenter study. Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery. in Press
124	新宮 康栄	循環器・呼吸器外科	Echocardiography Alone Allows the Determination of Heart Failure Stages in Rats with Pressure Overload.	The Thoracic and Cardiovascular Surgeon.61(8):718-725.2013
125	Kou I	整形外科	Genetic variants in GPR126 are associated with adolescent idiopathic scoliosis	Nat Genet
126	Kameda Y	整形外科	Siglec-15 regulates osteoclast differentiation by modulating RANKL-induced phosphatidylinositol 3-kinase/Akt and Erk pathways in association with signaling adaptor DAP12	J Bone Miner Res
127	Yamada K	整形外科	Caspase 3 silencing inhibits biomechanical overload-induced intervertebral disc degeneration	Am J Pathol
128	Asano T	整形外科	Alpha9Beta1 integrin acts as a critical intrinsic regulator of human rheumatoid arthritis	Rheumatology

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
129	Elmorsy S	整形外科	Chondroprotective effects of high-molecular-weight cross-linked hyaluronic acid in a rabbit knee osteoarthritis model.	Osteoarthritis Cartilage
130	Sudo H	整形外科	Global identification of genes related to nutrient deficiency in intervertebral disc cells in an experimental nutrient deprivation model	PLoS One
131	Sudo H	整形外科	Long-term Outcomes of Anterior Dual Rod Instrumentation for Thoracolumbar and Lumbar Curves in Cases of Adolescent Idiopathic Scoliosis: A 12- to 23-Year Follow-up Study	J Bone Joint Surg Am
132	Kotani Y	整形外科	Cervical myelopathy resulting from combined ossification of the ligamentum flavum and posterior longitudinal ligament: report of two cases and literature review	Spine J
133	Sudo H	整形外科	Anterior decompression and strut graft versus posterior decompression and pedicle screw fixation with vertebroplasty for osteoporotic thoracolumbar vertebral collapse with neurologic deficits	Spine J
134	Miyazaki T	整形外科	Cervical spondylotic myelopathy with subacute combined degeneration.	Spine J
135	Sudo H	整形外科	Long-term outcomes of anterior spinal fusion for treating thoracic adolescent idiopathic scoliosis curves. Average 15-year follow-up analysis	Spine
136	Ogura Y	整形外科	A replication study for association of five single nucleotide polymorphism with curve progression of adolescent idiopathic scoliosis in Japanese	Spine
137	Mastumoto M	整形外科	Postoperative distal adding-on and related factors in Lenke type 1A curve.	Spine
138	Watanabe K	整形外科	Risk Factors for Complications Associated With Growing-Rod Surgery for Early-Onset Scoliosis	Spine
139	Ogura Y	整形外科	A Replication Study for Association of 53 Single Nucleotide Polymorphisms in a Scoliosis Prognostic Test With Progression of Adolescent Idiopathic Scoliosis in Japanese	Spine
140	Kasahara Y	整形外科	What Are the Causes of Revision Total Knee Arthroplasty in Japan?	Clin Orthop Relat Res
141	Ito H	整形外科	Intermediate- to long-term results after hybrid total hip arthroplasty in patients with rheumatoid arthritis	J Arthroplasty

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
142	Onodera T	整形外科	Posterior femoral condylar offset after total knee replacement in the risk of knee flexion contracture	J Arthroplasty
143	Nishio Y	整形外科	Intraoperative medial pivot affects deep knee flexion angle and patient-reported outcomes after total knee arthroplasty	J Arthroplasty
144	Onodera T	整形外科	Beta-tricalcium phosphate shows superior absorption rate and osteoconductivity compared to hydroxyapatite in open-wedge high tibial osteotomy.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc.
145	Salmingo R	整形外科	Relationship of forces acting on implant rods and degree of scoliosis correction	Clin Biomech
146	Yoshihara H	整形外科	Severe fixed cervical kyphosis treated with circumferential osteotomy and pedicle screw fixation using an anterior-posterior-anterior surgical sequence	World Neurosurg
147	Urita A	整形外科	Effect of low-intensity pulsed ultrasound on bone healing at osteotomy sites after forearm bone shortening	J Hand Surg Am
148	Motomiya M	整形外科	Clinical and radiological results of radiolunate arthrodesis in rheumatoid wrists: 22 wrists followed for an average of 7 years	J Hand Surg Am
149	Yamada K	整形外科	Correction in Malrotation of the Scapula and Muscle Transfer for the Management of Severe Sprengel's Deformity: Static and Dynamic Evaluation Using Three-Dimensional Computed Tomography	J Pediatr Orthop
150	Hamano H	整形外科	Adverse effect of repeated corticosteroid injections for trigger finger on flexor pulley system	J Hand Surg Eur
151	Inagaki Y	整形外科	Prospective Clinical Comparisons of Semitendinosus Versus Semitendinosus and Gracilis Tendon Autografts for Anatomic Double-bundle Anterior Cruciate Ligament Reconstruction.	J Orthop Sci
152	Minami A	整形外科	An unusual complication after suspensionplasty with the abductor pollicis longus tendon for osteoarthritis at the carpometacarpal joint of the thumb	Hand Surg Am
153	Motomiya M	整形外科	Finger flexion contracture due to muscular involvement of sarcoidosis	Hand Surg Eur
154	Iwata A	整形外科	Fungal spinal infection treated with percutaneous posterolateral endoscopic surgery	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
155	Matsubara S	整形外科	Extensor tendon dislocation caused by improper end-to-side transfer in a rheumatoid patient: a case report.	Hand Surg
156	Hojo Y	整形外科	Primary Spinal Marginal Zone Lymphoma Relapsed at a Different Spinal Level after Remission of the Primary Lesion	Global Spine J
157	Ishihara T	整形外科	Discovery of novel differentiation markers in the early stage of chondrogenesis by glycoform-focused reverse proteomics and genomics	Biochim Biophys Acta
158	Iwasaki K	整形外科	Cytotoxic effects of the radiocontrast agent iotrolan and anesthetic agents bupivacaine and lidocaine in three-dimensional cultures of human intervertebral disc nucleus pulposus cells: identification of the apoptotic pathways.	PLoS One
159	Sudo H	整形外科	Surgical treatment of Lenke 1 thoracic adolescent idiopathic scoliosis with maintenance of kyphosis using the simultaneous double-rod rotation technique	Spine
160	Kondo E	整形外科	Biomechanical analysis of knee laxity with isolated anteromedial or posterolateral bundle-deficient anterior cruciate ligament.	Arthroscopy
161	Sasazawa F	整形外科	Depletion of gangliosides enhances cartilage degradation in mice	Osteoarthritis Cartilage
162	Shinohara N	泌尿器科	Efficacy of ATP-competitive inhibitors of mTORC2 on regulation of E-cadherin via HIF-2 α in the renal cell carcinoma cell line 786-O	J Urol
163	Shinohara N	泌尿器科	The F-prostaglandin receptor is a novel marker for tumor endothelial cell in renal carcinoma	Pathol Int
164	Shinohara N	泌尿器科	Prognostic Factors of Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients with Removed Metastases: A Multicentre Study of 559 Patients	Urology
165	Shinohara N	泌尿器科	Longitudinal comparison of quality of life after real-time tumor-tracking intensity-modulated radiation therapy and radical prostatectomy in patients with localized prostate cancer	J radiat Res
166	Shinohara N	泌尿器科	Long-term renal function outcomes in bladder cancer after radical cystectomy	Urol J
167	Shinohara N	泌尿器科	Efficacy and safety of awitinib versus soradenib in metastatic renal cell carcinoma: subgroup analysis of Japanese patients from a randomized phase 3 AXIS trial	Jpn J Clin Oncol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
168	Shinohara N	泌尿器科	Lysyl oxidase secreted by tumor endothelial cells promotes angiogenesis and metastasis	Br J Cancer
169	Shinohara N	泌尿器科	Impacts of clinicopathologic and operative factors on short-term and long-term survival in renal cell carcinoma with venous tumor thrombus extension before introducing molecular-targeted therapy: a multi-institutional retrospective study in Japan	BMC Cancer
170	Shinohara N	泌尿器科	Prospective Phase II Study of Image-Guided Local Boost Radiotherapy Using a Real-Time Tumor-Tracking Radiotherapy(RTRT) System for Locally Advanced Bladder Cancer	Jpn J Clin Oncol
171	Shinohara N	泌尿器科	Successful penile reconstruction after multimodal therapy in patients with primitive neuroectodermal tumor originating from the penis	Int J Urol
172	Shinohara N	泌尿器科	A randomized multi-center phase II trial on the efficacy of a hydrocollid dressing containing ceramide with a low-friction external surface for hand-foot skin reaction caused by sorafenib in patients with renal cell carcinoma	Ann Oncol
173	Abe T	泌尿器科	A Comparison of 90-day Complications between Ileal Conduit and Neobladder Reconstruction after Radical Cystectomy-A Retrospective Multi-institutional Study in Japan	Int J Urol
174	Abe T	泌尿器科	Outcome of metastasectomy for urothelial carcinoma: A multi-institutional retrospective study	J Urol
175	Shinohara N	泌尿器科	Final results of phase II trial of S-1 in patients with cytokine-refractory metastatic renal cell carcinoma	Jpn J Clin Oncol
176	Mori H,	スポーツ医学診療科	Development of a salmon-derived crosslinked atelocollagen sponge disc containing osteogenic protein-1 for articular cartilage regeneration: in vivo evaluations with rabbits.	BMC Musculoskelet Disord. 2013 May 30;14(1):174.
177	Kai S,	スポーツ医学診療科	A quantitative technique to create a femoral tunnel at the averaged center of the anteromedial bundle attachment in anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	BMC Musculoskelet Disord. 2013 Jun 15;14:189.
178	Kitamura N,	スポーツ医学診療科	A novel medial collateral ligament reconstruction procedure using semitendinosus tendon autograft in patients with multiligamentous knee injuries: clinical outcomes.	Am J Sports Med. 2013 Jun;41(6):1274-81.
179	Inagaki Y	スポーツ医学診療科	Prospective clinical comparisons of semitendinosus versus semitendinosus and gracilis tendon autografts for anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	J Orthop Sci. 2013 Sep;18(5):754-61.
180	Onodera J	スポーツ医学診療科	Beta-tricalcium phosphate shows superior absorption rate and osteoconductivity compared to hydroxyapatite in open-wedge high tibial osteotomy.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2013 Sep 18.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
181	Kwon HJ	スポーツ医学診療科	Simultaneous monitoring of intracellular ATP and oxygen levels in chondrogenic differentiation using a dual-color bioluminescence reporter.	Luminescence. 2013 Oct 22.
182	Kitamura N	スポーツ医学診療科	Biomechanical characteristics of 3 pivot-shift maneuvers for the anterior cruciate ligament-deficient knee: in vivo evaluation with an electromagnetic sensor system.	Am J Sports Med. 2013 Nov;41(11):2500-6.
183	Zhao Y	スポーツ医学診療科	Proteoglycans and glycosaminoglycans improve toughness of biocompatible double network hydrogels.	Adv Mater. 2014 Jan 22;26(3):436-42.
184	Kondo E,	スポーツ医学診療科	Biomechanical analysis of knee laxity with isolated anteromedial or posterolateral bundle-deficient anterior cruciate ligament.	Arthroscopy. 2014 Mar;30(3):335-43.
185	Sakushima K	神経内科	Different surgical treatment techniques used by neurosurgeons and orthopedists for syringomyelia caused by Chiari I malformation in Japan: clinical article	J Neurosurgery Spine 2013 Jun;18(6):588-92
186	The Multiple-System Atrophy Research Collaboration (Soma H, Yabe I, Sasaki H et al)	神経内科	Mutations in COQ2 in Familial and Sporadic Multiple-System Atrophy	N Eng J Med 2013;369:233-244
187	Yaguchi H	神経内科	Efficacy of intravenous cyclophosphamide therapy for neuromyelitis optica spectrum disorder	Intern Med.2013;52(9):969-72
188	Cai H	神経内科	Novel GNE compound heterozygous mutations in a GNE myopathy patient	Muscle Nerve 2013 Oct; 48(4): 594-8
189	Sasaki H	神経内科	Plasima matrix metalloproteinase-3 correlates with the clinical severity in men with multiple system atrophy	Neurology and Clinical Neuroscience 2013 Mar;2(1):69-77
190	Shirai S	神経内科	Isolated granulomatous angiitis with eosinophilia in the central nervous system	Neurology and Clinical Neuroscience 2013 May;3(1):119-121
191	Yaguchi, H	神経内科	Identification of anti-Sez6l2 antibody in a patient with cerebellar ataxia and retinopathy.	J Neurol 2014; 261: 224-226
192	Shirai S	神経内科	Neuromyelitis optica spectrum disorders accompanying subarachnoid hemorrhage and reversible white matter lesions.	Neurology and Clinical Neuroscience 2014 Jan; 2(1): 10-12
193	Kase S	眼科	Adenosquamous carcinoma of the conjunctiva: A case report.	Oncol Lett.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
194	Ando R	眼科	Aqueous humour levels of placental growth factor in diabetic retinopathy.	Acta Ophthalmol.
195	Saito M	眼科	Correlation between decreased choroidal blood flow velocity and the pathogenesis of acute zonal occult outer retinopathy.	Clin Experiment Ophthalmol.
196	Hashimoto Y	眼科	Retinal outer layer thickness increases after vitrectomy for epiretinal membrane, and visual improvement positively correlates with photoreceptor outer segment length.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.
197	Saito M	眼科	A case of paraneoplastic optic neuropathy and outer retinitis positive for autoantibodies against collapsin response mediator protein-5, recoverin, and ホア-enolase.	BMC Ophthalmol.
198	Hiraoka M	眼科	Increase of lysosomal phospholipase A2 in aqueous humor by uveitis.	Exp Eye Res.
199	Lennikov A	眼科	Amelioration of endotoxin-induced uveitis treated with the sea urchin pigment echinochrome in rats.	Mol Vis.
200	Lennikov A	眼科	Single center study on ethnic and clinical features of Behcet's disease in Moscow, Russia.	Clin Rheumatol.
201	Kanda A	眼科	Atp6ap2/(pro)renin receptor interacts with Par3 as a cell polarity determinant required for laminar formation during retinal development in mice.	J Neurosci.
202	Shimouchi A	眼科	Vitreomacular interface in patients with familial exudative vitreoretinopathy.	Int Ophthalmol.
203	Ohguchi	眼科	The effects of 2% rebamipide ophthalmic solution on the tear functions and ocular surface of the superoxide dismutase-1 (sod1) knockout mice.	Invest Ophthalmol Vis Sci.
204	Saito W	眼科	Expression of vascular endothelial growth factor and intravitreal anti-VEGF therapy with bevacizumab in vasoproliferative retinal tumors.	Retina.
205	Dong Z,	眼科	Expression of ホアB-crystallin and vascular endothelial growth factor in conjunctival squamous cell carcinoma.	Anticancer Res.
206	Kase S,	眼科	Spontaneous regression of IgG4-related dacryoadenitis.	Mod Rheumatol.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
207	Kase S	眼科	Clinical features of human T lymphotropic virus type 1-associated uveitis in Hokkaido, Japan.	Jpn J Ophthalmol.
208	Jin XH	眼科	Bacterial endophthalmitis caused by an intraocular cilium in a patient under treatment with infliximab.	J Ophthalmic Inflamm Infect.
209	Kase S	眼科	IgG4-related inflammation of the orbit simulating malignant lymphoma.	Anticancer Res.
210	Saito M	眼科	Macular choroidal blood flow velocity decreases with regression of acute central serous chorioretinopathy.	Br J Ophthalmol.
211	Mizuuchi K	眼科	Trabecular meshwork depigmentation in Vogt-Koyanagi-Harada disease.	Jpn J Ophthalmol.
212	Hirooka K	眼科	A patient with acute macular neuroretinopathy and central retinal vein occlusion.	Clin Ophthalmol.
213	Takashina S	眼科	Membrane tissue on the optic disc may cause macular schisis associated with a glaucomatous optic disc without optic disc pits.	Clin Ophthalmol.
214	Suzuki M	耳鼻咽喉科	Nasal manifestations of immunoglobulin G4-related disease.	Laryngoscope 123: 829-834, 2013
215	Sakashita T	耳鼻咽喉科	Prognostic value of cyclin D1 expression in tumor-free surgical margins in head and neck squamous cell carcinomas.	Acta Otolaryngol 133: 984-991, 2013
216	Sakashita T	耳鼻咽喉科	Regional control after concomitant chemoradiotherapy without planned neck dissection in node-positive head and neck squamous cell carcinomas	Auris Nasus Larynx 40: 211-215, 2013
217	Sakashita T	耳鼻咽喉科	The incidence of late neck recurrence in N0 maxillary sinus squamous cell carcinomas after superselective intra-arterial chemoradiotherapy without prophylactic neck irradiation	Eur Arch Otorhinolaryngol 9: [Epub ahead of print], 2013
218	Mizumachi T	耳鼻咽喉科	Improved survival of Japanese patients with human papillomavirus-positive oropharyngeal squamous cell carcinoma.	Int J Clin Oncol 18: 824-828, 2013
219	Kano S	耳鼻咽喉科	Matched-Pair Analysis in Patients with Advanced Oropharyngeal Cancer: Surgery versus Concurrent Chemoradiotherapy	Oncology 84: 290-298, 2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
220	Kano S	耳鼻咽喉科	Salvage surgery for recurrent oropharyngeal cancer after chemoradiotherapy	Int J Clin Oncol 18: 817-823, 2013
221	Kano S	耳鼻咽喉科	Effect of local extension sites on survival in locally advanced maxillary sinus cancer	Head Neck: Epub ahead of print, 2013
222	Kano S	耳鼻咽喉科	Local extension sites affect survival in locally advanced maxillary sinus cancer.	Head Neck: [Epub ahead of print], 2013
223	Homma	耳鼻咽喉科	Superselective intra-arterial cisplatin infusion and concomitant radiotherapy for maxillary sinus cancer	Br J Cancer 109: 2980-2986, 2013
224	Hata H	皮膚科	Minute reddish patch of extramammary Paget's disease with notable lymph node metastases.	Int J Dermatol
225	Hoshina D	皮膚科	Establishment of a novel experimental model of human angiosarcoma and a VEGF-targeting therapeutic experiment.	J Dermatol Sci
226	Ito T	皮膚科	Dermoscopy of pseudoxanthoma elasticum-like papillary dermal elastolysis.	J Am Acad Dermatol
227	Ito T	皮膚科	Infantile eczema caused by formula milk.	Lancet
228	Iwata H	皮膚科	B cells, dendritic cells, and macrophages are required to induce an autoreactive CD4 helper T cell response in experimental epidermolysis bullosa acquisita.	J Immunol
229	Izumi K	皮膚科	Intractable erythematous plaques on the hands: palmoplantar eosinophilic pustular folliculitis.	Int J Dermatol
230	Nomura Y	皮膚科	A novel splice site mutation in NCSTN underlies a Japanese family with hidradenitis suppurativa.	Br J Dermatol
231	Nakazato S	皮膚科	Wells' Syndrome Associated with Chronic Myeloid Leukaemia.	Acta Derm Venereol
232	Saito N	皮膚科	Stevens-Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis mouse model generated by using PBMCs and the skin of patients.	J Allergy Clin Immunol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
233	Suto A	皮膚科	LC-MS/MS analysis of canine lipoproteins fractionated using the ultracentrifugation-precipitation method.	J Vet Med Sci
234	Toyonaga E	皮膚科	Indomethacin for Refractory Infantile Eosinophilic Pustular Folliculitis.	JAMA Dermatol
235	Toyonaga E	皮膚科	Pagetoid dyskeratosis with parallel ridge pattern under dermoscopy.	JAMA Dermatol
236	Tsujiwaki M	皮膚科	Coexistence case of bullous pemphigoid and pemphigus foliaceus.	Eur J Dermatol
237	Fujita Y	皮膚科	Tubular Spitz Naevus Mimicking Eccrine Spiradenoma.	Acta Derm Venereol
238	Izumi K	皮膚科	Localized cutaneous amyloidosis associated with poikilodermatous mycosis fungoides.	Acta Derm Venereol
239	Muramatsu K	皮膚科	Repeated skin sampling and prolonged incubation period identified cutaneous Mycobacterium chelonae infection on the face in an immunocompetent man.	Br J Dermatol
240	Ota M	皮膚科	Fixed drug eruption occurring in vitiliginous skin.	J Am Acad Dermatol
241	Shimizu S	皮膚科	Cutaneous Manifestations of Helicobacter cinaedi Infection.	Acta Derm Venereol
242	Shinkuma S	皮膚科	A Novel Keratin 5 Mutation in an African Family with Epidermolysis Bullosa Simplex Indicates the Importance of the Amino Acid Located at the Boundary Site Between the H1 and Coil 1A Domains.	Acta Derm Venereol
243	Ujiie H	皮膚科	Linear congenital molluscum contagiosum on the coccygeal region.	Pediatr Dermatol
244	Yanagi T	皮膚科	Ultrasonography detects symmetrical lividities of the soles of the feet: a non-hyperhidrosis case treated with AlCl ₃ solution.	Int J Dermatol
245	Iwata H	皮膚科	Bullous pemphigoid: role of complement and mechanisms for blister formation within the lamina lucida.	Exp Dermatol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
246	Gekka M	脳神経外科	Hemorrhagic onset of hemangioblastoma located in the dorsal medulla oblongata presenting with takotsubo cardiomyopathy and neurogenic pulmonary edema: a case report.	Case Rep Neurol.
247	Shichinohe H	脳神経外科	Bone Marrow Stromal Cells Rescue Ischemic Brain by Trophic Effects and Phenotypic Change Toward Neural Cells.	Neurorehabil Neural Repair.
248	Kazumata K	脳神経外科	Spatial relationship between cerebral microbleeds, moyamoya vessels, and hematoma in moyamoya disease.	J Stroke Cerebrovasc Dis.
249	Shimbo D	脳神経外科	Post-ischemic intra-arterial infusion of liposome-encapsulated hemoglobin can reduce ischemia reperfusion injury.	Brain Res.
250	Motegi H	脳神経外科	Thalamic arteriovenous malformation fed by the artery of Percheron originating from the contralateral posterior cerebral artery in a child.	Childs Nerv Syst.
251	Sasamori T	脳神経外科	A case of cervical juxtafacet cyst with extensive rim enhancement on Gd-DTPA MRI.	Clin Imaging.
252	Kuroda S	脳神経外科	Clinical significance of STA-MCA double anastomosis for hemodynamic compromise in post-JET/COSS era.	Acta Neurochir (Wien).
253	Ju CI	脳神経外科	Totally ossified metaplastic spinal meningioma.	J Korean Neurosurg Soc.
254	Kobayashi H	脳神経外科	Usefulness of FMISO-PET for glioma analysis.	Neurol Med Chir (Tokyo).
255	Shichinohe H	脳神経外科	Bone marrow stromal cell transplantation enhances recovery of motor function after lacunar stroke in rats.	Acta Neurobiol Exp (Wars).
256	Vuignier S	脳神経外科	Ivy sign, misery perfusion, and asymptomatic moyamoya disease: FLAIR imaging and (15)O-gas positron emission tomography.	Acta Neurochir (Wien).
257	Saito H	脳神経外科	Reversible Isolated Accessory Nerve Palsy due to a Large Thrombosed Vertebral Aneurysm.	Case Rep Neurol.
258	Saito H	脳神経外科	¹²³ I-iomazenil single photon emission computed tomography visualizes recovery of neuronal integrity by bone marrow stromal cell therapy in rat infarct brain.	Stroke.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
259	Kuroda S	脳神経外科	Translational challenge for bone marrow stroma cell therapy after stroke.	Front Neurol Neurosci.
260	Ito M	脳神経外科	Irregular Neointimal Lining with Prominent Proliferative Activity After Carotid Patch Angioplasty: An Autopsy Case Report.	World Neurosurg.
261	Kazumata K	脳神経外科	Changing treatment strategy from clipping to radial artery graft bypass and parent artery sacrifice in patients with ruptured blister-like internal carotid artery aneurysms.	Neurosurgery.
262	Saito H	脳神経外科	Validity of dual MRI and F-FDG PET imaging in predicting vulnerable and inflamed carotid plaque.	Cerebrovasc Dis.
263	Hokari M	脳神経外科	Long-term prognosis in patients with clipped unruptured cerebral aneurysms--increased cerebrovascular events in patients with surgically treated unruptured aneurysms.	Neurosurg Rev.
264	Sasamori T	脳神経外科	Transformation from asymptomatic to symptomatic of lower cervical spinal dural arteriovenous fistula.	Neurol Med Chir (Tokyo).
265	Uchino H	脳神経外科	Semiquantitative analysis of indocyanine green videoangiography for cortical perfusion assessment in superficial temporal artery to middle cerebral artery anastomosis.	Acta Neurochir (Wien).
266	Tohyama H	リハビリテーション科	A novel medial collateral ligament reconstruction procedure using semitendinosus tendon autograft in patients with multiligamentous knee injuries: clinical outcomes.	Am J Sports Med 41(6):1274-81, 2013
267	Tohyama H	リハビリテーション科	Biomechanical study of healing of patellar tendon after resection of the central one-third in an adult-mature rabbit model.	Biomed Mater Eng. 23(3):173-81, 2014
268	山田 崇弘	産科	Effects of campaign for postpartum vaccination on seronegative rate against rubella among Japanese women.	BMC Infect Dis
269	水上 尚典	産科	Differentiation of acute fatty liver of pregnancy from syndrome of hemolysis elevated liver enzymes and low platelet counts.	J Obstet Gynaecol Res
270	山田 崇弘	産科	Immune status among Japanese during nationwide rubella outbreak in Japan	J Infect
271	馬詰 武	産科	Essential thrombocythemia as a risk factor for stillbirth.	Thromb Res

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
272	森川 守	産科	Prospective risk of abruptio placentae.	J Obstet Gynaecol Res
273	山田 崇弘	産科	Impact of planning of pregnancy in women with epilepsy on seizure control during pregnancy and on maternal and neonatal outcomes.	Seizure
274	森川 守	産科	Electronic fetal heart rate monitoring in five fetuses with Ebstein's anomaly.	J Obstet Gynaecol Res
275	山田 崇弘	産科	Problems in methods for the detection of significant proteinuria in pregnancy.	J Obstet Gynaecol Res
276	水上 尚典	産科	Causes of a nationwide rubella outbreak in Japan, 2012–2013.	J Infect
277	西田 竜太郎	産科	Viable delivery after conservative management of a cesarean scar pregnancy.	J Ultrasound Med
278	山田 崇弘	産科	Number of women requiring care at a tertiary hospital equipped with a neonatal intensive care unit at night in an area with a population of 2 million.	J Obstet Gynaecol Res
279	水上 尚典	産科	Radioactive cesium (¹³⁴ Cs and ¹³⁷ Cs) content in human placenta after the Fukushima nuclear power plant accident.	J Obstet Gynaecol Res
280	小島 崇史	産科	Unusual clinical course of preeclampsia heralded by generalized edema.	J Obstet Gynaecol Res
281	山田 崇弘	産科	Coagulation/fibrinolysis and laboratory characteristics of pregnant women with severely depressed antithrombin activity.	Hypertens Pregnancy
282	山田 崇弘	産科	Difference in the D-dimer rise between women with singleton and multifetal pregnancies.	Thromb Res
283	水上 尚典	産科	Transverse uterine fundal incision for placenta praevia with accreta, involving the entire anterior uterine wall: a case series.	BJOG
284	水上 尚典	産科	Outcomes of infants exposed to oseltamivir or zanamivir in utero during pandemic (H1N1) 2009.	Am J Obstet Gynecol

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
285	山田 崇弘	産科	Labor induction by transcervical balloon catheter and cerebral palsy associated with umbilical cord prolapse.	J Obstet Gynaecol Res
286	水上 尚典	産科	Expansion of functional human mucosal-associated invariant T cells via reprogramming to pluripotency and redifferentiation.	Cell Stem Cell
287	森川 守	産科	Clinical features and short-term outcomes of triplet pregnancies in Japan.	Int J Gynaecol Obstet
288	森川 守	産科	Fetal macrosomia in Japanese women.	J Obstet Gynaecol Res
289	Todo Yukiharu	婦人科	Tailoring lymphadenectomy according to the risk of lymph node metastasis in endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2014 Feb;40(2):317-21.
290	Watari Hidemichi	婦人科	Proposal of a concept and design of a randomized phase III trial investigating the survival effect of para-aortic lymphadenectomy in endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2014 Feb;40(2):312-6.
291	Todo Yukiharu	婦人科	Clinical significance of tumor volume in endometrial cancer: a Japan-Korea cooperative study.	Gynecol Oncol. 2013 Nov;131(2):294-8.
292	Kato Tatsuya	婦人科	Multivariate prognostic analysis of adenocarcinoma of the uterine cervix treated with radical hysterectomy and systematic lymphadenectomy.	J Gynecol Oncol. 2013 Jul;24(3):222-8.
293	Dong Peixin	婦人科	Emerging therapeutic biomarkers in endometrial cancer.	Biomed Res Int. 2013;2013:130362.
294	Mitamura Takashi	婦人科	Downregulation of miRNA-31 induces taxane resistance in ovarian cancer cells through increase of receptor tyrosine kinase MET.	Oncogenesis. 2013 Mar 25;2:e40.
295	Sakuragi Noriaki	婦人科	Recent advances in research on epigenetic alterations and clinical significance of para-aortic lymphadenectomy in endometrial cancer: an introduction.	Int J Clin Oncol. 2013 Apr;18(2):183-5.
296	Todo Yukiharu	婦人科	Tumor volume successively reflects the state of disease progression in endometrial cancer.	Gynecol Oncol. 2013 Jun;129(3):472-7.
297	Todo Yukiharu	婦人科	Randomized controlled trial versus comparative cohort study in verifying the therapeutic role of lymphadenectomy in endometrial cancer.	Int J Clin Oncol. 2013 Apr;18(2):200-6.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
298	Dong Peixin	婦人科	Prognostic significance of miR-194 in endometrial cancer.	Biomark Res. 2013;1. pii: 12. doi: 10.1186/2050-7771-1-12.
299	Watari Hidemichi	婦人科	Human papillomavirus 16-positive uterine cervical squamous cell carcinoma with coinfection with human papillomavirus 34 has a lower incidence in lymph node metastasis than that without coinfection with human papillomavirus 34.	Pathobiology. 2013;80(5):259-64. doi: 10.1159/000350423.
300	Todo Yukiharu	婦人科	Methodological considerations in the analysis of the therapeutic significance of lymphadenectomy in endometrial cancer.	Taiwan J Obstet Gynecol. 2013 Mar;52(1):8-13.
301	Kobayashi Noriko	婦人科	PRIMA-1 increases cisplatin sensitivity in chemoresistant ovarian cancer cells with p53 mutation: a requirement for Akt down-regulation.	J Ovarian Res. 2013 Jan 26;6:7.
302	Kang Sok-Bom	婦人科	A low-risk group for lymph node metastasis is accurately identified by Korean gynecologic oncology group criteria in two Japanese cohorts with endometrial cancer.	Gynecol Oncol. 2013 Apr;129(1):33-7.
303	Todo Yukiharu	婦人科	Systematic lymphadenectomy in endometrial cancer.	J Obstet Gynaecol Res. 2013 Feb;39(2):471-7.
304	Todo Yukiharu	婦人科	Randomized controlled trial versus comparative cohort study in verifying the therapeutic role of lymphadenectomy in endometrial cancer.	Int J Clin Oncol. 2013 Apr;18(2):200-6.
305	Nihei H,	小児科	Polyarthritis caused by methimazole in two Japanese patients with graves' disease.	J Clin Res Pediatr Endocrinol.
306	Adachi M,	小児科	Classic Bartter syndrome complicated with profound growth hormone deficiency: a case report.	J Med Case Rep.
307	Miyake Y,	小児科	Prognosis of primary aldosteronism in Japan: results from a nationwide epidemiological study.	Endocr J.
308	Jo W,	小児科	Development of endometrial carcinoma in a patient with leprechaunism (donohue syndrome).	Clin Pediatr Endocrinol.
309	Nakamura A,	小児科	Three novel IGSF1 mutations in four Japanese patients with X-linked congenital central hypothyroidism.	J Clin Endocrinol Metab.
310	Nakamura A,	小児科	Loss-of-function and gain-of-function mutations of calcium-sensing receptor: functional analysis and the effect of allosteric modulators NPS R-568 and NPS 2143.	J Clin Endocrinol Metab. 2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
311	Maruyama H,	小児科	Nephrocalcinosis and placental findings in neonatal bartter syndrome.	AJP Rep. 2013 May;3(1):21-4
312	Takahashi D,	小児科	A rare association between Rathke's cyst and hypophysitis in a patient with delayed sex development and growth failure.	J Pediatr Endocrinol Metab. 2013;26(9-10):949-53. d
313	Tajima T,	小児科	A novel mutation of IGSF1 in a Japanese patient of congenital central hypothyroidism without macroorchidism.	Endocr J. 2013;60(2):245-9.
314	Koseki N,	小児科(感染制御部)	Comparison of the clinical effectiveness of zanamivir and laninamivir octanoate for children with influenza A(H3N2) and B in the 2011-2012 season	Influenza and other respiratory viruses 8(2): 151-8.
315	Nagaoki Y,	小児科(感染制御部)	Detection of Human Bocavirus 2 DNA from a Girl with Plastic Bronchitis	Journal of US-China Medical Science 11(1): 47-8
316	Okamoto T,	小児科	Prevalence of CD44-positive glomerular epithelial cells reflects podocyte injury in adriamycin nephropathy.	Nephron experimental nephrology
317	Okamoto T,	小児科	Clinically mild encephalitis/encephalopathy with a reversible splenial lesion associated with febrile urinary tract infection.	European journal of pediatrics
318	Kiyoshi Egawa	小児科	Local impermeant anions establish the neuronal chloride concentration.	Science
319	Kiyoshi Egawa	小児科	Cl- homeodynamics in gap-junction-coupled astrocytic networks on activation of GABAergic synapses.	Journal of Physiology
320	Kiyoshi Egawa	小児科	Pathophysiological power of improper tonic GABA(A) conductances in mature and immature models	Front Neural Circuits
321	Hideaki Shiraishi	小児科	Magnetoencephalography localizing spike sources of atypical benign partial epilepsy.	Brain and Development
322	Kikuchi Y	放射線診断科	Imaging characteristics of cardiac dominant diffuse large B-cell lymphoma demonstrated with MDCT and PET/CT	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2013 May 8
323	Kato F	放射線診断科	Earlier and better high-resolution single breast imaging during bilateral breast dynamic scans at 3-T MRI: comparison with post dynamic high-resolution imaging	Breast Cancer. 2013 Oct 31

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
324	Kudo K	放射線診断科	For the Stroke Imaging Repository (STIR) Investigators, Warach. Accuracy and Reliability Assessment of CT and MR Perfusion Analysis Software Using a Digital Phantom	Radiology. 2013 Apr;267(1):201-211
325	Shimizu Y	放射線診断科	Isolated posterior fossa involvement in posterior reversible encephalopathy syndrome	Neuroradiol J. 2013 Nov;26(5):514-9. Epub 2013 Nov 7
326	Ogisu K	放射線診断科	3D neuromelanin-sensitive magnetic resonance imaging with semi-automated volume measurement of the substantia nigra pars compacta for diagnosis of Parkinson's disease	Neuroradiology. 2013 Jun;55(6):719-24
327	Tha KK	放射線診断科	Impaired integrity of the brain parenchyma in non-geriatric patients with major depressive disorder revealed by diffusion tensor imaging	Psychiatry Res. 2013 Jun 30; 212 (3):208-15
328	Kudo K	放射線診断科	Prediction of Infarct Volume by Bayesian Analysis of Perfusion-weighted Imaging: Comparison with Singular Value Decomposition	Magn Reson Med Sci. 2014 Jan 31 (epub)
329	Miyayama S	放射線診断科	Guidelines on the use of gelatin sponge particles in embolotherapy	Jpn J Radiol. 2014 Feb 8.
330	西岡 健太郎	放射線治療科	Evaluation of inter-observer variability of bladder boundary delineation on cone-beam CT.	Radiat Oncol.
331	土屋 和彦	放射線治療科	Dosimetric comparison between intensity-modulated radiotherapy and standard wedged tangential technique for whole-breast radiotherapy in Asian women with relatively small breast volumes.	Radiol Phys Technol.
332	木下 留美子	放射線治療科	Co-overexpression of GEP100 and AMAP1 proteins correlates with rapid local recurrence after breast conservative therapy.	PLoS One.
333	西岡 健太郎	放射線治療科	Prospective Phase II Study of Image-guided Local Boost Using a Real-time Tumor-tracking Radiotherapy (RTRT) System for Locally Advanced Bladder Cancer.	Jpn J Clin Oncol
334	松浦 妙子	放射線治療科	Integration of a real-time tumor monitoring system into gated proton spot-scanning beam therapy: An initial phantom study using patient tumor trajectory data.	Med Phys.
335	Taeko Matsuura	放射線治療科	Biological effect of dose distortion by fiducial markers in spot-scanning proton therapy with a limited number of fields: A simulation study	Medical Physics
336	Taeko Matsuura	放射線治療科	Integration of a real-time tumor monitoring system into gated proton spot-scanning beam therapy: An initial phantom study using patient tumor trajectory data	Medical Physics Vol 40, pp. 710-729 (2013)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
337	Chie Toramatsu,	放射線治療科	What is the appropriate size criterion for proton radiotherapy for hepatocellular carcinoma? A dosimetric comparison of spot-scanning proton therapy versus intensity-modulated radiation therapy	Radiation Oncology vol 8, p48 (2013)
338	Kentaro Nishioka,	放射線治療科	Prospective Phase II Study of Image-Guided Local Boost Radiotherapy Using a Real-Time Tumor-Tracking Radiotherapy (RTRT) System for Locally Advanced Bladder Cancer	Japanese Journal of Clinical Oncology
339	Tetsuya Inoue,	放射線治療科	Stereotactic body radiotherapy using gated radiotherapy with real-time tumor-tracking for stage I non-small cell lung cancer	Radiation Oncology (2013) vol 8, p69
340	Kazuhiko Tsuchiya,	放射線治療科	Dosimetric comparison between intensity-modulated radiotherapy and standard wedged tangential technique for whole-breast radiotherapy in Asian women with relatively small breast volumes	Radiological Physics and Technology January 2014, Volume 7, Issue 1, pp 67-72
341	Manabe O	核医学診療科	Elevated 18F-fluorodeoxyglucose uptake in the interventricular septum is associated with atrioventricular block in patients with suspected cardiac involvement sarcoidosis	Eur J Nucl Med Mol Imaging
342	Okamoto S	核医学診療科	Lung uptake on I-131 therapy and short-term outcome in patients with lung metastasis from differentiated thyroid cancer	Ann Nucl Med
343	H Miyaji	歯周・歯内療法科	Osteoinductivity and biodegradability of collagen scaffold coated with Nano- β -TCP and fibroblast growth factor 2	J Nanomater
344	Kakuda S	歯冠修復科	Inhibition of enamel demineralization by buffering effect of S-PRG filler-containing dental sealant.	European journal of Oral Sciences
345	Kakuda S	歯冠修復科	Improved long-term bonding performance of an experimental all-in-one adhesive.	Dental Materials Journal
346	Fu J	歯冠修復科	Bonding performance of a newly developed step-less all-in-one system on dentin.	Dental Materials Journal
347	Okuyama K	歯冠修復科	Measurement of fluoride distribution in root dentin under fluoride-containing coating materials.	JAEA-Review
348	平田恵理	口腔機能補綴学教室	Carbon nanotubes functionalized with fibroblast growth factor accelerate proliferation of bone marrow-derived stromal cells and bone formation.	Nanotechnology
349	横山敦郎	口腔機能補綴学教室	Differences in recognition of wild-type and lipoprotein-deficient strains of oral Streptococci in vitro and in vivo.	Pathog Dis.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
350	横山敦郎	口腔機能補綴学教室	Long-term biopersistence of tangled oxidized carbon nanotubes inside and outside macrophages in rat subcutaneous tissue.	Sci Rep.
351	横山敦郎	口腔機能補綴学教室	Toll-like receptor 2-mediated modulation of growth and functions of regulatory T cells by oral streptococci	Mol Oral Microbiolol.
352	Yamagata, S.,	矯正歯科	An evaluation of fluorescent orthodontic adhesives containing Eu-doped ZnO at room temperature.	Nano Biomedicine
353	Abe, S.,	矯正歯科	Photophysical properties and biocompatibility of photoluminescent Y2O3: Eunanoparticles in polymethyimetacrylate matrix.	J. Nanosci. Nanotechnol.
354	Hanba, Y.,	矯正歯科	Preparation and properties of fluorescent orthodontic adhesives containing Y2O3:Eu3+ particles.	Nano Biomedicine
355	Abe, S.,	矯正歯科	Preparation and biocompatibilities of luminescent europium-doped yttria and titania nanoparticles.	J.Ceram.Soc.Jpn.
356	Sato, Y.	矯正歯科	Do Japanese show the teeth when they smile?	J.Hokkaido Orthod.Soc.
357	Minamikawa H	小児・障害者歯科	Photofunctionalization increases the bioactivity and osteoconductivity of the titanium alloy Ti6Al4V.	J Biomed Mater Res A.
358	Minamikawa H (3rd)	小児・障害者歯科	Early-stage osseointegration capability of a submicrofeatured titanium surface created by microroughening and anodic oxidation.	Clin Oral Implants Res.
359	Okada,Kazuki	高次口腔医療センター	A case of pigmented villonodular synovitis, with few clinical symptoms, arising from the temporomandibular joint	Oral Radiology
360	Omatsu,Mika	歯科放射線科	Magnetic displacement force and torque on dental keepers in the static magnetic field of an MR scanner.	Journal of magnetic resonance imaging
361	Kashiwazaki H,	高齢者歯科	Bone Augmentation Using Novel Unidirectional Porous Hydroxyapatite with Bone Morphogenetic Protein-2 on rat skull.	J. Hard Tissue Biology
362	Sasaki M,	高齢者歯科	Altered distribution of bone matrix proteins and defective bone mineralization in lootho-deficient mice.	Bone

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
363	Kobayashi K,	高齢者歯科	Tongue retractor developed for occlusal adjustment under general anaesthesia	Journal of Disability and Oral Health
364	Keiichi Nakano	検査・輸血部	Development of a highly sensitive three dimensional gel electrophoresis method for characterization of monoclonal protein heterogeneity	Analytical Biochemistry
365	Magota, K	放射線部	Electrocardiographically gated 11C-hydroxyephedrine PET for the simultaneous assessment of cardiac sympathetic and contractile functions	Annals of nuclear medicine
366	Rie Yamazaki	放射線部	Influence of respiration on dose calculation in stereotactic body radiotherapy of the lung.	Radiological Physics and Technology
367	Domen H	病理部	Histopathologic characterization of lung adenocarcinoma in relation to fluorine-18-fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography.	Jpn J Clin Oncol.
368	Nitta T	病理部	Pancreatic ductal adenocarcinomas with multiple large cystic structures: a clinicopathologic and immunohistochemical study of seven cases.	Pancreatology.
369	Hayashi T	病理部	Rapid on-site evaluation by endosonographer during endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration for pancreatic solid masses.	J Gastroenterol Hepatol
370	Tatsuhiko Kakisaka	病理部	An intraductal papillary neoplasm of the bile duct mimicking a hemorrhagic hepatic cyst: a case report.	World Journal of Surgical Oncology
371	Makoto Emori	病理部	Desmoid tumor-associated pain is dependent on mast cell expression of cyclooxygenase-2.	Diagnostic Pathology
372	Eiko Hayase	病理部	Epstein-barr virus-associated smooth muscle tumors after bone marrow transplantation.	Transplantation
373	Matsumoto S	病理部	Morphology of 9p21 homozygous deletion-positive pleural mesothelioma cells analyzed using fluorescence in situ hybridization and virtual microscope system in effusion cytology.	Cancer Cytopathol
374	Sato H	病理部	High level expression of AMAP1 protein correlates with poor prognosis and survival after surgery of head and neck squamous cell carcinoma patients.	Cell Commun Signal.
375	Soma S	病理部	Intratumoral distribution of EGFR-amplified and EGFR-mutated cells in pulmonary adenocarcinoma.	Pathol Res Pract.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
376	Yamamoto M	病理部	p53 accumulation is a strong predictor of recurrence in estrogen receptor-positive breast cancer patients treated with aromatase inhibitors.	Cancer Sci.
377	Yoshioka T	病理部	Prognostic significance of pathologic complete response and Ki67 expression after neoadjuvant chemotherapy in breast cancer.	Breast Cancer
378	Eto K	病理部	Human equilibrative nucleoside transporter 1 and Notch3 can predict gemcitabine effects in patients with unresectable pancreatic cancer. Br J Cancer	Br J Cancer
379	Tatsuya Yoshioka	病理部	Prognostic significance of pathologic complete response and Ki67 expression after neoadjuvant chemotherapy in breast cancer.	Breast Cancer
380	Chuma M	病理部	Heat shock factor 1 accelerates hepatocellular carcinoma development by activating nuclear factor- κ B/mitogen-activated protein kinase.	Carcinogenesis
381	Kim SW	病理部	Comparison of outcomes between autologous and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for peripheral T-cell lymphomas with central review of pathology.	Leukemia.
382	Suzuki M	病理部	Nasal manifestations of immunoglobulin G4-related disease.	Laryngoscope.
383	Kikuchi Y	病理部	Imaging characteristics of cardiac dominant diffuse large B-cell lymphoma demonstrated with MDCT and PET/CT.	Eur J Nucl Med Mol Imaging.
384	Shimizu Y	病理部	Endoscopic in vivo cellular imaging of superficial squamous cell carcinoma of the head and neck by using an integrated endocytoscopy system (with video).	Gastrointest Endosc.
385	Nam JM	病理部	β 1-Integrin via NF- κ B signaling is essential for acquisition of invasiveness in a model of radiation treated in situ breast cancer.	Breast Cancer Res.
386	Sasaki M	病理部	Hyperplastic hepatocellular nodule with localized hemangiomas: A hitherto unrecognized type of hypervascular hepatic lesion..	Hepatol Res.
387	Honda S	病理部	RASSF1A methylation indicates a poor prognosis in hepatoblastoma patients.	Pediatr Surg Int.
388	Kinoshita R	病理部	Co-overexpression of GEP100 and AMAP1 proteins correlates with rapid local recurrence after breast conservative therapy.	PLoS One.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
389	Tanabe T	病理部	Long-term clinicopathological impact of calcineurin inhibitor cessation without specific cytoreductive induction in kidney transplantation.	Clin Transplant.
390	Fujita Y	病理部	Tubular spitz naevus mimicking eccrine spiradenoma. Acta Derm Venereol. 2014 Jan;94(1):114-5. PMID: 23756597	Acta Derm Venereol.
391	Kase S	病理部	IgG4-related inflammation of the orbit simulating malignant lymphoma.	Anticancer Res.
392	Wakayama K,	臓器移植医療部	Surgical management of hepatocellular carcinoma with tumor thrombi in the inferior vena cava or right atrium.	World J Surg Oncol
393	Nakahashi S,	臓器移植医療部	APRV in patients with atelectasis after liver transplantation	Anaesth Intensive Care
394	Morooka Y,	臓器移植医療部	Reliability and validity of a new living liver donor quality of life scale	Surg Today
395	Shimamura Tsuyoshi	臓器移植医療部	Open Hepatic Left Lateral Sectionectomy for Live Donor Transplantation	ACS Multimedia Atlas of Surgery: Liver Surgery Volume, 2014 American College of Surgeons
396	Fatema CN	口腔内科	FDG-PET may predict the effectiveness of hyperbaric oxygen therapy in a patient with bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw: report of a case.	Odontology
397	Kitagawa Y	口腔内科	Enzyme histochemical adaptive responses of the medial pterygoid muscle and two heads of the lateral pterygoid muscle to long-term soft diet feeding in growing rabbits.	Odontology
398	Sato J	口腔内科	¹⁸ F-fluoromisonidazole PET uptake is correlated with hypoxia-inducible factor-1 α expression in oral squamous cell carcinoma.	J Nucl Med
399	Fatema CN	口腔内科	Monitoring tumor proliferative response to radiotherapy using (18)F-fluorothymidine in human head and neck cancer xenograft in comparison with Ki-67.	Ann Nucl Med
400	Imamachi K	口腔内科	pp32r1 controls the decay of the RNA-binding protein HuR	Oncology Reports
401	T Fukuda	口腔内科	Electrophysiologically identified presynaptic mechanisms underlying amylinergic modulation of area postrema neuronal excitability in rat brain slices.	Brain Research

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
402	Yamamoto M,	乳腺外科	p53 accumulation is a strong predictor of recurrence in ER-positive breast cancer patients treated with aromatase inhibitors.	Cancer Science
403	Yoshioka T,	乳腺外科	Prognostic significance of pathologic complete response and Ki67 expression after neoadjuvant chemotherapy in breast cancer	Breast Cancer
404	Gando S	先進急性期医療センター	Differentiating disseminated intravascular coagulation (DIC) with the fibrinolytic phenotype from coagulopathy of trauma and acute coagulopathy of trauma-shock (COT/ACOTS).	J Thromb Haemost 2013 May;11(5):826-35
405	Gando S	先進急性期医療センター	Role of fibrinolysis in sepsis	Semin Thromb Hemost 2013 Jun;39(4):392-9
406	Hayakawa M	先進急性期医療センター	Massive amounts of tissue factor induce fibrinogenolysis without tissue hypoperfusion in rats.	Shock 2013 Jun;39(6):514-9
407	Gando S	先進急性期医療センター	A multicenter, prospective validation study of the Japanese Association for Acute Medicine disseminated intravascular coagulation scoring system in patients with severe sepsis.	Crit Care 2013 Jun;17(3):R111
408	Yanagida Y	救急科	Normal prothrombinase activity, increased systemic thrombin activity, and lower antithrombin levels in patients with disseminated intravascular coagulation at an early phase of trauma: comparison with acute coagulopathy of trauma-shock.	Surgery 2013 Jul;154(1):48-57
409	Gando S	先進急性期医療センター	A randomized, controlled, multicenter trial of the effects of antithrombin on disseminated intravascular coagulation in patients with sepsis.	Crit Care 2013 Dec;17(6):R297
410	Wada T	救急科	Coagulofibrinolytic changes in patients with disseminated intravascular coagulation associated with post-cardiac arrest syndrome--fibrinolytic shutdown and insufficient activation of fibrinolysis lead to organ dysfunction.	Thromb Res 2013 Jul;132(1):e64-9
411	Hayakawa M	先進急性期医療センター	Effects of epinephrine administration in out-of-hospital cardiac arrest based on a propensity analysis	J Intensive Care 2013 1(12)
412	Gando S	先進急性期医療センター	Journal of Intensive Care: a new journal for all intensive care physicians	J Intensive Care 2013 Oct;1(1):
413	Saito M	高次口腔医療センター	Temporal association between sleep apnea-hypopnea and sleep bruxism events	J Sleep Res
414	Kameda H,	内科II	A merged presentation of clinical and radiographic data using probability plots in a clinical trial, the JESMR study.	Ann Rheum Dis 72:310-2, 2013

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
415	Harigai M	内科Ⅱ	Elevation of KL-6 serum levels in clinical trials of tumor necrosis factor inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: a report from the Japan College of Rheumatology Ad Hoc Committee for Safety of Biological DMARDs.	Mod Rheumatol 23:284-96, 2013
416	Takamura A	内科Ⅱ	A retrospective study of serum KL-6 levels during treatment with biological disease-modifying antirheumatic drugs in rheumatoid arthritis patients: a report from the Ad Hoc Committee for Safety of Biological DMARDs of the Japan College of Rheumatology.	Mod Rheumatol 23:297-303, 2013
417	Amengual O,	内科Ⅱ	Phospholipid scramblase 1 expression is enhanced in patients with antiphospholipid syndrome.	Mod Rheumatol 23:81-8, 2013
418	Fukaya S	内科Ⅱ	Overexpression of TNF- α -converting enzyme in fibroblasts augments dermal fibrosis after inflammation.	Lab Invest 93. 72-80, 2013
419	Fukae J	内科Ⅱ	Positive synovial vascularity in patients with low disease activity indicates smouldering inflammation leading to joint damage in rheumatoid arthritis: time-integrated joint inflammation estimated by synovial vascularity in each finger joint.	Rheumatology 52:523-8, 2013
420	Oku K	内科Ⅱ	Essential role of the p38 mitogen-activated protein kinase pathway in the tissue factor gene expression by the phosphatidylserine-dependent antiprothrombin antibody.	Rheumatology 52: 1775-84, 2013
421	Kato M	内科Ⅱ	The involvement of CD36 in the monocyte activation by antiphospholipid antibodies.	Lupus 22:761-71, 2013
422	Ishizu A	内科Ⅱ	Prediction of response to treatment by gene expression profiling of peripheral blood in patients with microscopic polyangiitis.	Rheumatology (Oxford).. 52(10):1775-84.2013
423	Shimane K	内科Ⅱ	An association analysis of HLA-DRB1 with systemic lupus erythematosus and rheumatoid arthritis in a Japanese population: effects of *09:01 allele on disease phenotypes.	Rheumatology (Oxford). 52(7) 1172-82, 2013
424	Bohgaki M	内科Ⅱ	RNF168 Ubiquitylates 53BP1 and Controls Its Response to DNA Double-Strand Breaks.	Proc Natl Acad Sci USA. 110(52) 20982-7, 2013.
425	Bohgaki M	内科Ⅱ	The E3 ligase PIRH2 polyubiquitylates CHK2 and regulates its turnover.	Cell Death Differ. 20(6) 812-22, 2013.
426	Kato M	内科Ⅱ	Dual role of autophagy in stress-induced cell death in rheumatoid arthritis synovial fibroblasts.	Arthritis Rheum. 66(1) 40-48, 2014
427	Kamishima T	内科Ⅱ	Contrast-Enhanced Whole Body Joint MR Imaging in Rheumatoid Patients on Tumor Necrosis Factor-alpha Agents: A Pilot Study to Evaluate Novel Scoring System for MR Synovitis.	Clin Exp Rheumatol. 31(1) 154, 2013.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
428	Yasuda S.	内科Ⅱ	Disseminated intravascular coagulation in the presence of antiphospholipid antibodies: differential diagnosis from catastrophic or microangiopathic antiphospholipid syndrome.	Intern Med. 52(2) 169-170, 2013
429	Nakagaki O	内科Ⅱ	Epalrestat improves diabetic wound healing via increased expression of nerve growth factor.	Exp Clin Endocrinol Diabetes 2013; 121: 1-6.
430	Nakamura A	内科Ⅱ	Factors associated with the glucose-lowering effect of vildagliptin identified from the results of the oral glucose tolerance test in Japanese patients with type 2 diabetes.	Endocr J. 60: 45-49, 2013
431	Nakamura A	内科Ⅱ	Modification of a simple clinical scoring system as a diagnostic screening tool for nonalcoholic steatohepatitis in Japanese patients with nonalcoholic fatty liver disease.	J Diabetes Invest. 4: 651-658, 2013
432	Nakamura A	内科Ⅱ	Lessons from Mouse Models of High-Fat Diet-Induced NAFLD.	Int J Mol Sci. 14: 21240-21257, 2013
433	Cho KY	内科Ⅱ	The phenotype of infiltrating macrophages influences arteriosclerotic plaque vulnerability in the carotid artery.	J Stroke Cerebrovasc Dis, 2013 Oct; 22(7):910-8.
434	Tajima K	内科Ⅱ	Metformin prevents liver tumorigenesis induced by high-fat diet in C57Bl/6 mice.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 305: E987-998, 2013
435	Tajima K	内科Ⅱ	AMPK is involved in the regulation of incretin receptors expression in pancreatic islets under a low glucose concentration.	PLoS One 2013; 8(5):e646
436	Miyoshi A	内科Ⅱ	Ovarian morphology and prevalence of polycystic ovary syndrome in Japanese women with type 1 diabetes mellitus.	J Diabetes Invest 4(3):326-329, 2013.
437	Ono Y	内科Ⅱ	Mitiglinide/voglibose fixed-dose combination improves postprandial glycemic excursions in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Expert Opin Pharmacother. 2013; 14: 361-70
438	Takahata M	内科Ⅱ	Comparative study of sitagliptin with pioglitazone in Japanese type 2 diabetic patients: the COMPASS randomized controlled trial.	Diabetes Obes Metab. 15: 455-462, 2013
439	Zolzaya K	内科Ⅱ	Role of insulin receptor substrate-1 for diethylnitrosamine plus high-fat diet-induced hepatic tumorigenesis in mice.	J Diabetes Investig. 2014 Feb 12;5(1):27-30
440	Oshima M	内科Ⅱ	Successful delivery in a patient with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis.	Intern Med. 2013;52(14):1605-9.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
441	akeuchi S	内科Ⅱ	Lysosomal-associated membrane protein-2 plays an important role in the pathogenesis of primary cutaneous vasculitis.	Rheumatology (Oxford). 2013 Sep;52(9):1592-8.
442	akazawa D	内科Ⅱ	Possible implication of disordered neutrophil extracellular traps in the pathogenesis of MPO-ANCA-associated vasculitis.	Clin Exp Nephrol. 2013 Oct;17(5):631-3
443	Imamoto T	内科Ⅱ	Possible linkage between microscopic polyangiitis and thrombosis via neutrophil extracellular traps.	Clin Exp Rheumatol. 2013 Dec 9.
444	Zolzaya K	内科Ⅱ	Role of insulin receptor substrate-1 for diethylnitrosamine plus high-fat diet-induced hepatic tumorigenesis in mice.	J Diabetes Investig. 2014 Feb 12;5(1):27-30.
445	Ono Y	内科Ⅱ	The glycemic/metabolic responses to meal tolerance tests at breakfast, lunch and dinner, and effects of the mitiglinide/voglibose fixed-dose combination on postprandial profiles in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus.	Expert Opin Pharmacother. 2014 Feb;15(3):311-24.
446	Arima T	冠矯義歯補綴科	Effects of interocclusal distance on bite force and masseter EMG in healthy participants	Journal of Oral Rehabilitation
447	Saito A	冠矯義歯補綴科	Periodontal regeneration following application of basic fibroblast growth factor-2 in combination with beta tricalcium phosphate in class III furcation defects in dogs	Dent Mater J
448	Y Ueda	冠矯義歯補綴科	The future of dental treatment and prosthesis using CAD/CAM systems	Journal of Contemporary Dental Science1(2)

(注) 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
4				
5				
～				

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「北海道大学病院における臨床研究の取扱いに関する指針」を整備し、臨床研究の分類と担当する委員会、審査に関する手順を定めている。研究責任者は、該当する審査委員会に審査を受けるための申請を行うこととし、研究者がいずれの審査を受けるべきか判断に苦慮する場合は、本院自主臨床研究委員会事務局へ問い合わせることとなっている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 7 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反マネジメント内規」及び「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー」を整備し、本院において実施する臨床研究に係る利益相反の適切な管理、審査及び指導等について必要な事項を定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容 ①第1回 平成25年6月28日「ヒト生体に内在する“多能性幹細胞” Muse細胞の発見」 参加人数60名	

②第2回 平成25年9月11日「臨床研究倫理の理論と実際」 参加人数99名

③第3回 平成25年10月11日「医療制度と医薬品評価概要」 参加人数59名

④第4回 平成26年1月23日「医薬品の安全性評価の考え方」 参加人数52名

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(医科)

◎北海道大学病院での研修

○1年目

・必修科目(9ヶ月)

内科で6ヶ月の研修:内科Ⅰ(肺癌,非癌,循環器・糖尿病),内科Ⅱ(腎臓,膠原病,糖尿病・内分泌),消化器内科,循環器内科,神経内科,血液内科,腫瘍内科,リハビリテーション科から選択

救急で3ヶ月の研修:救急科3ヶ月,又は救急科2ヶ月及び麻酔科1ヶ月から選択

・選択必修科目(3ヶ月)

外科(消化器外科Ⅰ,消化器外科Ⅱ,循環器・呼吸器外科,整形外科,泌尿器科,形成外科,スポーツ医学診療科,眼科,耳鼻咽喉科,皮膚科,脳神経外科,乳腺外科),麻酔科,精神科神経科,小児科,産婦人科から2診療科以上,1科最低1ヶ月以上。本人の希望により同一診療科を連続して3ヶ月研修した場合には,残りの1科1ヶ月以上を2年目研修時に必ず履修する。

○2年目

・必修科目

地域医療:1ヶ月以上,3ヶ月以下

・自由選択

必修科目,選択必修科目の診療科に加え,放射線科(身体,神経,IVR,治療),核医学診断科,病理部を含めた全診療科選択可能。

◎たすきがけ協力病院での研修(1年間)

○1年目

・必修科目(9ヶ月) 内科6ヶ月,救急3ヶ月

・選択必修科目(3ヶ月) 研修病院の研修内容に準ずる

○2年目

・必修科目(地域医療研修1ヶ月)を含み,研修病院の研修内容に準ずる

(歯科)

◎単独型研修

保存・補綴・口腔外科・病棟・歯科放射線・歯科麻酔科・予防・矯正・小児歯科などのローテーション研修並びに病棟研修を行う。また,研修協力施設にて地域歯科保健活動や訪問歯科医療についても研修する。

◎複合型研修

ア 管理型臨床研修施設での研修

協力型研修施設では研修できない内容(病棟,歯科麻酔科など)を中心に行う。また,研修協力施設にて地域歯科保健活動や訪問歯科医療についても研修する。研修項目として,複合型では,医療面接,総合診療計画,救急処置,医療安全・感染予防,経過評価管理,予防・治療技術を主に研修する。

イ 協力型臨床研修施設での研修

高頻度に遭遇する歯科治療を反復研修する。また,医療管理や地域医療についても研修する。研修項目として,予防・治療基本技術,応急処置,高頻度治療,医療管理・地域医療を主に研修する。

2 研修の実績

研修医の人数	104人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
平野 聡	内科Ⅰ	教授	26年	プログラム責任者
	内科Ⅱ			
	消化器内科			
	循環器内科			
	血液内科			
	腫瘍内科			
	消化器外科Ⅰ			
	消化器外科Ⅱ			
	循環器・呼吸器外科			
	整形外科			
	泌尿器科			
	麻酔科			
	形成外科			
	スポーツ医学診療科			
	乳腺外科			
	救急科			
	神経内科			
	眼科			
	耳鼻咽喉科			
	皮膚科			
	精神科神経科			
	脳神経外科			
	リハビリテーション科			
	産科			
婦人科				
小児科				
放射線治療科				
放射線診断科				
核医学診断科				
病理診断科				
井上 哲	歯科	教授	28年	プログラム責任者

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意） 別紙のとおり
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意） 別紙のとおり
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

主な内容	期間・実施回数	参加人数
臨床検査技師の技術・資質向上を図る	通年・74回	延べ1545人
SST療法の習得	1日・1回	1人
理学療法に関する講演，セミナー，研究発表	2日・2回	7人
作業療法に関する講演，セミナー，研究発表	3日・2回	6人
心臓リハビリテーションに関する講演，セミナー，研究発表	2日・1回	3人
障害者の職業リハビリテーションに関するセミナー	3日・1回	1人
リハビリテーションに関する講演，研究発表	1日・1回	5人
関節リウマチに対するリハビリテーションに関する講演，セミナー，研究発表	1日・1回	2人
臨床薬学・医療薬学的研究を実施した成果報告，議論	年・22回	延べ1100人
看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護業務	2日・1回	89人
看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護助手業務	2日・1回	12人
メンタルヘルスマネジメント	1日・1回	73人
医療情報システム・患者看護支援システム	1日・2回	86人
接遇とコミュニケーション・チーム医療とプロフェッショナルリズム	1日・1回	207人
北大病院の理念，財政，経営改善，サービス・倫理，安全衛生管理，個人情報保護，院内感染予防	2日・1回	86人
採血手順の理解・実践，口腔ケアの目的理解	1日・1回	73人
点滴静脈内注射の実際	1日・1回	73人
看護必要度の理解，システム入力の実際	1日・1回	73人
患者参加型看護，看護記録	1日・1回	18人
患者の人権及び看護倫理分析法	2日・1回	48人
心電図・酸素	1日・1回	73人
北大病院の看護課程と看護記録	2日・1回	54人
看護研究の基礎とプロセス	1日・1回	81人
膀胱留置カテーテル挿入と管理全般	1日・1回	72人
患者の心身の状況と業務の関連	2日・1回	44人
看護研究のプロセス	2日・2回	32人
新人看護職員の成長過程におけるメンタルサポート	1日・1回	53人
看護であるものないもの	6日・2回	82人
円滑なコミュニケーションによるチーム医療の推進	1日・1回	72人
医療現場における個人情報の取り扱い，救急救命処置の基本	4日・4回	125人
経管栄養法，PEG，ドレーンの目的，理解	1日・1回	72人
家族看護	2日・1回	37人
静脈注射エキスパートナースに期待すること	3日・1回	38人
1年目の役割が理解でき社会人として責任ある行動がとれる	2日・1回	72人
静脈注射エキスパート更新試験	1日・1回	50人
多重課題	2日・2回	34人
患者参加型看護推進と看護記録	1日・1回	27人
看護研究のプロセス，研究計画書	1日・1回	16人
看護とキャリア-チーム医療の中でキャリアを活かす-	1日・1回	25人
安全な静脈注射実施に向けた課題の明確化	1日・1回	25人

グループワーク，課題達成状況確認	1日・1回	54人
グループワーク，看護の学びを共有	4日・2回	82人
気管内挿管の理解・介助の実際	1日・1回	71人
安全な医療の提供のための臨床の倫理について	1日・1回	181人
看護職のキャリア開発	4日・4回	20人
看護研究・業務改善等	2日・2回	270人
BLS/AED	3日・3回	32人
感染制御の基本	1日・1回	20人
院内感染予防	1日・1回	135人
感染経路別予防策	1日・1回	72人
カテーテル管理	1日・1回	60人
クレーム対応	1日・1回	18人
労働安全衛生法，労働災害防止対策，心身の管理	1日・1回	135人
看護職のワーク・ライフ・バランス	2日・2回	300人
院内暴言暴力対応	1日・1回	4人

② 業務の管理に関する研修の実施状況

主な内容	期間・実施回数	参加人数
北大病院の看護と看護師長の役割・教育・総務・業務関連	1日・1回	7人
臨地実習のねらい・臨地実習担当者の役割	1日・1回	32人
問題解決技法の活用	2日・1回	19人
看護研究における倫理	1日・1回	16人
看護部における総務・業務・教育の役割	1日・1回	8人
看護チームにおけるリーダーの役割	3日・2回	52人
看護管理実践能力	1日・1回	39人
指導者の役割	1日・1回	35人
新人看護職員研修と支援体制	1日・1回	60人
夜間業務における健康管理	1日・1回	7人
看護管理者として論理的思考による問題解決	1日・1回	39人

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 寶金 清博	
管理担当者氏名	総務課長 医事課長 医療支援課長 薬剤部長	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 診療録管理室 総務課	<ul style="list-style-type: none"> 病歴資料については、診療科毎に作成，保管管理（一診療科一診療録） 処方せんについては、薬剤部において保管管理 エックス線写真については、各診療科において保管管理 なお、平成12年10月1日以降退院する患者に係る入院診療録（看護記録，サマリーを含む）及び外来診療録の一部は、診療録管理室にて保管管理。 <ul style="list-style-type: none"> 病院日誌は総務課にて保管管理。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療支援課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療支援課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療支援課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療支援課
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	①. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 竹見吉弘, 経営企画課長 大道 元	
閲覧担当者氏名	総務係長 清水泰貴, 分析企画係長 佐藤規久	
閲覧の求めに応じる場所	総務課事務室, 経営企画課事務室	
閲覧の手続の概要 利用者は必要に応じ、文書により閲覧責任者に閲覧を申し出、閲覧担当者は閲覧に応じる。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I. 北海道大学病院における医療安全管理指針 II. インシデント、医療事故に関する考え方 III. 本院におけるインシデントのレベル分類 IV. 医療安全に関する報告の意義・範囲・方法 V. 医療事故等発生時の対応 VI. 医療安全管理体制 VII. 関連機関への報告・公表等 VIII. 医療に係る安全管理のための職員研修 IX. 患者相談対応 X. 患者・家族に対する当該指針の閲覧</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故等防止対策の検討及び推進に関すること (2) 医療事故等の対応及び原因究明に関すること (3) 医事紛争の対応等に関すること (4) 医療事故等の情報収集及び分析に関すること (5) 医療事故等防止に関する職員の教育・研修に関すること (6) その他医療事故等に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>専門領域に関する講習会「インスリン療法講習会」 医療安全に関する講演会「2012年度のインシデントを振り返って」×3回 採血・穿刺時の神経損傷に関する講習会「採血・穿刺時の神経損傷」 医療安全に関する講演会「ジャーナリストから見た医療安全の考え方」 専門領域に関する講習会DVD上映会「医薬品副作用救済制度」×2回 医療安全に関する講演会「院内感染症を喰う」 医療安全の日講演会「医療訴訟の現状と対策」 医療安全に関する勉強会「WHO手術安全チェックリスト導入に向けて」 医療安全に関する講演会「電子カルテ導入後のカルテ・看護記録記載時の留意点」 医療安全に関する講演会「病院が負担する診療費の出所」 医療安全に関する講演会「院内自殺の実態とその予防的取り組みについて」</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1. 報告書に伴う問題点の把握方法(各部署、安全管理部門の問題点の認識) インシデント報告に関する分析からフィードバックまでの対応(職員への周知と再発防止)</p> <p>1) 専任リスクマネジャー(GRM)が当該リスクマネジャー(RM)へ事実確認を行い、報告内容の監査・分析を行い、問題事例や有害事象の場合は、当該RMとの検討、患者の影響度、患者への対応状況などを協議し対応している。</p> <p>2) レベル3bの有害事象の場合は、当該部署のRMに当該部署として検討を行った結果と再発防止策について事例報告書として詳細報告を要請し、事例報告書に基づき原因・起因を分析し、病院長に報告している。</p> <p>3) レベル4, 5の有害事象は、GRMが聞き取り・現場検証などの事実調査を行い、当該RM</p>	

<p>・関係者との事象の検討、患者の影響度、患者への対応などを協議している。GRMが作成した検証資料に基づき、病院長・医療安全管理部長・当該部署の責任者とRMにより原因検討を行い、重篤な事案の場合は医療事故対策特別部会で原因検討の上、病院の見解を明確にしている。</p>	
<p>2. 問題点の分析方法（各部署、安全管理部門の問題点の分析方法）</p> <p>1) 必要な事例については、専門分野の医員を指名し、WG、院内医療事故検討会を設置し、原因分析・再発防止策を作成する。</p> <p>2) 医療事故等調査・分析専門委員会において、3a以上の報告については月ごとにレベル・過誤の判定と合併症の妥当性の検討を行っている。</p> <p>3) レベル3b以上の報告は、毎週月曜日に、報告内容を分析し、原因と患者への影響度を検討し、医療事故報告制度への報告対象事例の判定を行っている。</p>	
<p>3. 改善策の検討方法</p> <p>1) 報告の全体的分析は毎月と年間において実施し、発生レベル・報告状況・場面別に集計し、発生場面別や職種別の発生状況について定量的分析を行い「医療安全に関する報告集計」を作成し、各委員会に周知を図っている。また、病院運営会議においても報告し、周知を図っている。</p> <p>2) 各診療科・部署の安全管理を図るために、前年度の当該診療科・部署での報告について年間集計し、当該診療科・部署での優先的課題を分析し、年度前半で、診療科・部署RM等で対策を検討し、年度末に再度、今年度の当該診療科・部署での報告について集計し、優先的課題の評価を実施し、次年度に向けて継続事項を検討している。</p> <p>3) 医薬品・医療機器に関する事象については、関係専門委員会で再発防止策を検討し、システム改善・教育体制などの企画を検討している。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（5名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員： 専任（7）名 兼任（1）名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故及びインシデント報告の受理及び分析に関すること</p> <p>(2) リスクマネジメント委員会の運営に関すること</p> <p>(3) リスクマネージャー連絡会議の企画及び運営に関すること</p> <p>(4) 医療安全に関する教育及び研修に関すること</p> <p>(5) 医療現場からの医療事故等の相談に関すること</p> <p>(6) 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載内容の確認及び指導に関すること</p> <p>(7) 医療事故等の発生時における患者又はその家族への対応状況の確認及び必要な指導に関すること</p> <p>(8) 医療事故等に対する原因究明の実施状況確認及び必要な指導に関すること</p> <p>(9) 医療安全に係る連絡調整に関すること</p> <p>(10) その他医療安全対策の推進に関すること</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>当院の北海道大学院内感染指針は以下の項目から成っている。</p> <ol style="list-style-type: none">1 院内感染対策に関する基本的な考え方2 院内感染対策に関する管理組織機構<ol style="list-style-type: none">(1) 院内感染対策委員会(2) 院内感染対策特別部会(3) 感染制御部(4) 感染防止対策チーム(5) 感染対策マネージャ連絡会議3 職員研修に関する基本方針4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5 アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針6 患者等への情報提供と説明に関する基本方針7 その他院内感染対策の推進のために基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内感染防止対策の検討及び推進・ 院内感染防止の対応及び原因究明・ 院内感染等の情報収集及び分析・ 院内感染防止等に関する職員の教育・研修	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 1 回 (H25年度)
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策講演会「本院における院内感染対策」・ 新規感染対策マネージャ講習会「感染対策マネージャの役割」，「感染防止の基礎」・ 研修医院内感染対策研修「感染防御具の脱着方法・手洗いとその検証・安全装置付器材による採血と静脈留置の実際」，「病棟で遭遇する感染症」，「感染症診療の Pit-hole」	

- ・異動後医師研修「北大病院の感染制御について」
- ・専門領域研修会感染管理「スタンダードプリコーション」「感染経路別予防策」
- ・外注調理職員研修「食中毒防止について」「感染防止は手洗いから」

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
 - ・ 「感染症のアウトブレイク発生に伴う保健所への報告基準」を制定し、保健所や大学内の報告に係る基準及び方法等について整備済みである。(平成23年6月17日医政指発第1号に基づき、平成23年8月25日病院執行会議において承認)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 感染防止対策チームを設置して、院内感染状況、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止策等の実施状況の把握と指導を行っている。
 - ・ 耐性菌サーベイランス等、感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応を行っている。
 - ・ 感染防止対策加算1を算定する医療機関として、同じく加算1を算定する医療機関との相互評価及び加算2を算定する医療機関との合同カンファレンスの開催等により道内の医療機関との連携を図っている。
 - ・ 平成24年4月から、感染制御部専任の医師(医員)1名を新たに配置した。
 - ・ 感染制御部専任の事務補佐員(非常勤職員)1名を継続して配置し、平成24年7月から、事務職員(常勤職員)1名を配置した。

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：(H 2 5 年度)・ 研修医オリエンテーション「処方書書き方・オーダーリングシステム入力上の注意点」 開催回数：2回(2013年4月2日、4月3日)、対象：医師・ 医薬品に関する講習会「危険薬の取扱い」 開催回数：2回(2013年8月21日、28日)、対象：看護師・ 異動後医師研修「危険性の高い薬剤の取扱い」 開催回数：1回(2013年6月27日)、対象：医師	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容： <p>医薬品安全使用に関する手順書</p> <ol style="list-style-type: none">1) 医療安全上、注意を要する薬剤リスト<ol style="list-style-type: none">(1) 特に安全管理が必要なリスト(2) 配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬(3) 誤認に注意薬剤2) 指示・伝達ルール<ol style="list-style-type: none">(1) 指示・伝達ルール(2) 口頭指示は原則禁止3) 内服薬に関する管理基準<ol style="list-style-type: none">(1) 内服薬管理基準(2) 薬剤管理指導業務手順書(3) 入院患者の持参薬確認業務手順書(4) 誤調剤に対する調剤室対応手順4) 注射薬に関する管理基準<ol style="list-style-type: none">(1) 注射業務管理基準(2) 注射薬混合調製(ミキシング)手順書5) 危険性の高い薬剤<ol style="list-style-type: none">(1) 危険性の高い薬剤の取扱い手順書(2) 注射用抗生物質製剤等によるショック等に対する安全対策(3) 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および処置・手術時の対応(4) ビグアナイド系糖尿病薬服薬中のヨード造影剤使用の検査について6) 抗がん薬に関する手順書<ol style="list-style-type: none">(1) 院内がん化学療法要項(2) がん化学療法実施運用手順書(3) 抗がん薬の投与に関する手順書(4) 抗がん薬被爆防止に関するマニュアル(5) 院内におけるがん化学療法の安全性に関する取り決め(6) 血管外漏出およびアレルギー反応発生時の対応について7) 医療安全情報管理<ol style="list-style-type: none">(1) 医療安全性情報管理体制(2) 薬剤部における医薬品情報管理手順8) 医薬品管理<ol style="list-style-type: none">(1) 病棟における注射剤管理業務手順書(2) 病棟における薬剤師業務基準(3) 麻薬管理取扱い手順9) インスリン療法マニュアル<ol style="list-style-type: none">(1) インスリン療法マニュアル(2) インスリンラインナップ(3) 各製剤の使い方	

- 1 0) 医薬品の採用に関する手順書
- 1 1) 他施設との連携に関する手順書

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 医薬品の情報管理体制として、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成し、それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」として、医薬品医療機器総合機構（PMDA）からの医療安全情報は「PMDA医療安全情報」「緊急安全性情報」「PMDAから医薬品適正使用のお願い」としてメールにより診療科・部門に提供している。また、関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。
 - ・ 医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会内容の検討を行っている。

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：(H 2 5 年度) 人工呼吸器安全管理講習会(基礎課程 3 回を 2 クール・認定課程 1 回) 医療機器に関する研修「輸液・シリンジポンプ編」2 回 共用血管用エコー講習会 2 回 人工心肺装置及び補助循環装置 2 回 血液浄化装置 2 回 除細動装置 2 回 閉鎖式保育器 2 回 診療用高エネルギー放射線発生装置 12 回 診療用放射線照射装置 3 回	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容： 医療機器管理システムを使用し、使用している医療機器の種類毎に保守点検計画の策定、実施、及び、実施の確認をしている。 【中央管理機器】 ME 機器管理センターで、日常点検・稼働後の点検、定期点検の実施 不具合発生時の現場調査と故障点検の実施。 故障時のメンテナンスとメーカーとの調整。 【放射線部管理機器】 放射線診療従事者より、①始業点検、② 2 回/月以上の出力線量測定、③ 3 ヶ月及び 6 ヶ月毎に放射線及び幾何学的点検、④漏洩線量等の放射線管理に関する測定を実施している。 他に製造メーカーと保守契約を結び年間 3 回の定期メンテナンスを実施している。 【診療科・部門管理機器】 医療機器管理システムを使用して、管理課で保守点検計画により機器のリストを作成し、機器の保守点検を実施予定。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の情報管理体制として、医療安全性情報管理体制を整備。 それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」としてメールで診療科・部門に提供。 関係機関やメーカーからの医療機器に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼。 また、ME 機器管理センターからメールにて医療機器情報を現場へ提供。 医療機器を管理するための北海道大学病院の医療機器管理体制を明文化。 医療機器に関するインシデントの分析結果を基に e ラーニングシステムを構築した。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構, 平成26年2月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 広報誌およびウェブサイトにて、本院の理念と目標、地域の中核としての役割、先進的な医療に関する情報提供などを行なっている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 診療科時間の連携についてのルールが整備されており、他診療科への受診依頼、依頼先においての検査結果等の患者情報が電子カルテを通して共有されている。患者の情報が不足している場合は補足説明を電話で直接行う等により緊密かつ緊急に連携できる体制を整えている。	